



病院案内

健やかな暮らしのために
“心をひとつにする医療”を実践しています。



医療法人 真生会

真生会富山病院

SHINSEIKAI TOYAMA HOSPITAL



医療法人 真生会

真生会富山病院

SHINSEIKAI TOYAMA HOSPITAL

〒939-0243 富山県射水市下若 89-10
TEL: 0766-52-2156(代表) FAX: 0766-52-2197
<https://www.shinseikai.jp/>



地域の皆様に安心と満足の医療を

私たちは「^{わ げん あい こ}和顔愛語」(やさしい笑顔とあたたかい言葉)を信条とし、地域の皆様に安心と信頼を提供できる病院づくりを目指します。

理 念 仏法に説かれている「自利利他」の精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。

基本方針

- 一、患者の幸福を最も大切にする医療を実践します。
- 一、24時間救急診療体制をとり、住民の皆様の健康と生命を尊重する病院組織を築きます。
- 一、各科の特徴を活かし、安全で良質な医療を提供できるよう努めます。
- 一、在宅療養を、全科往診、チーム医療で支援します。
- 一、患者の皆様と共に笑顔のあふれる病院を目指します。

私たちが大切にしている想い

真生会職員として大切にしている、また大切にしたい想いです。

親切第一

思いやりの心

平等で
かけがえのない
尊い命

院長メッセージ

「笑顔のあふれる病院を目指し」 - 利他の精神を大切に -

患者ありき

医療はまず患者ありき。病む人があって私達、医療従事者があり、病む人がなければ医療もありません。医療の主人公である患者が、私達の医療を受け、どれくらい満足できたのかが、もっとも大切なことであります。その安心・満足の度合いはどのように調べれば良いでしょう。私達は、それを笑顔の多さと考え、笑顔を生み出す医療を目指しています。

良質の医療

ここで言う笑顔は楽しく愉快なときに出る“笑い”ではなく、不安が安心に変わり、心が満ちてこぼれる笑顔です。その患者の笑顔の前に必ずあるのが職員の笑顔だと思います。職員の笑顔とは、仕事の充実感からの笑顔であり、医療という仕事にやり甲斐と誇りを持って生まれる自信にあふれた笑顔です。良質の医療とは、そのような患者、職員双方の笑顔を生み出す医療ではないでしょうか。



院長 真鍋恭弘

目 次

理念・基本方針・院長メッセージ	1～2
イントロダクション	3～4
● 診療科案内	
内科	5～8
小児科	9～10
整形外科	11～12
外科・麻酔科	13～14
皮膚科	15～16
形成外科	17
心療内科	18
耳鼻咽喉科	19～20
アイセンター(眼科)	21
専門外来	22
リハビリテーション科	23
救急診療	24
緩和センター	25～26
消化器センター	27～28
腎透析センター	29
糖尿病センター	30
統合医療	31～32
健診センター	33
患者支援センター	34
● 部門案内	
看護部	35
地域医療部	36
その他の部門	37
● 施設案内	
受付・診療時間	38
施設概要・フロア案内	39～40
● 広 報	
講演会・セミナー	41
メディア掲載・外国人患者受入れ体制	42
● 関連施設	
真生会デンタルクリニック(歯科)	43
住宅型有料老人ホーム ほのか	44
真生会訪問看護ステーション ところ	45
看護小規模多機能型居宅介護事業所 ところの家	46
真生会高岡クリニック	47～48
真生会伏木クリニック	49～50



【真生会の夢】

射水市になくてはならない、愛される真生会となり、
みんなの笑顔があふれる素晴らしい街を作る。

【2025年ビジョン】

2025年に実現させたい真生会の姿です。

一、射水市を住みよい街とする

射水市を住みよい街とするために真生会ができることを実践する。

一、職員の幸せを実現する

真生会が目指す、みんなの笑顔があふれる街づくりのため、まず私たち職員が幸せになりましょう。それは自利利他の精神に基づいた幸せですので必ず周囲の人を幸せにします。

一、魅力ある真生会となる

さまざまな人が幸せを求めて集まってくるような魅力を持ちましょう。



■地域包括ケアシステム構築に向けて

団塊世代が75歳以上となる2025年が目前に迫ってきています。

介護が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケア拠点病院として、医療を提供してまいります。

■安心のサポート体制

●フロアマネジャー

病院で、このような思いをされたことはありませんか？

「受付方法がわからない」
「何科を受診すればいいかわからない」
「車いすの介助を頼みたい」
「待ち時間を知りたい」
「とにかく話を聞いてもらいたい」etc...



このようなときは、フロアマネジャーに声をおかけください。
皆さまが安心して診療を受け、満足して帰られるよう、サポートいたします。総合受付前ロビーにあります。
また、看護師による相談窓口も設けております。

耳の不自由な方への手話対応、日本語がわからない方への英語や中国語での対応も、できる限り応じますので、必要時にはご相談ください。



●電話呼び出しサービス

診察に呼ばれるまでの待ち時間を有効活用していただけるよう、診察が近づいたら携帯電話にご連絡する、電話呼び出しサービスを行っています。
希望される場合は、各科の受付窓口にご相談ください。
また、患者図書室、小児図書室、レストラングリーンハットにも番号表示画面を設置していますので、安心してご利用いただけます。



救急医療から在宅医療まで幅広く対応できる内科、
最新情報を世界へ発信していける内科を目指しています。

■ 神 経 内 科

高齢者の方の脳卒中が増えています。

神経内科は、脳や脊髄、末梢神経、筋肉などの病気を診る科です。頭痛、めまい、ふらつき、物忘れ、話しにくい、体や手足が動きにくい、体や手足がしびれる、体や手足が震えるなどの症状の原因を調べて治療します。頭痛、めまい、認知症、脳卒中、てんかん、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、脳髄膜炎、末梢神経炎、重症筋無力症、多発筋炎などの病気を扱っています。

●頭痛

くも膜下出血や髄膜炎など緊急に治療が必要な命にかかわる怖い頭痛もあります。急に起こり、これまで経験したことがないひどい頭痛や手足の麻痺やしびれを伴う頭痛の場合は、至急受診する必要があります。

●めまい、ふらつき

脳幹、小脳、大脳から起こるめまいには、脳卒中、脳腫瘍、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、多発性硬化症、てんかんなどがあります。

●物忘れ

代表的な認知症は、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症ですが、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、ビタミンの欠乏、甲状腺ホルモンの欠乏、アルコール依存症などでも認知症になります。

●体や手足の麻痺、しびれ

急に体の片側の手足（例えば右の手足など）が同時に動きにくい、顔つきが変わる、ろれつが回らないといった症状が出た時は脳卒中の可能性が高く、早期の受診が必要です。脳梗塞が起きてから間もない時は、血栓を溶かして麻痺を改善させる血栓溶解療法を行うことができます。

●けいれん

手足を硬直させて泡を吹くてんかんは有名ですが、てんかん以外に、脳の病気、腰や筋肉の病気、破傷風などによっても起こります。

■ 医師・スタッフブログ

- 血液内科医の「明日から役立つ血液学」
http://blog.livedoor.jp/sth_hematology/



血液内科医の
「明日から役立つ血液学」



- 後期研修医（内科）ブログ
http://blog.livedoor.jp/sth_resident/



後期研修医(内科)
ブログ



■ 腎 臓 内 科

検尿異常や足や顔の浮腫でお悩みの方はぜひご相談ください。

糖尿病腎症、慢性腎炎、ネフローゼ症候群などが主な対象疾患となります。
診断に必須な腎臓ドップラーエコー、腎生検などの検査も受けられます。ネフローゼを呈する腎疾患で腎生検およびステロイド治療を行っており、治療も投薬ばかりでなく日常生活での食事や運動についても個別指導を行います。
慢性腎不全が進行し、透析治療にならぬよう透析導入を回避する治療をします。

●腹膜透析

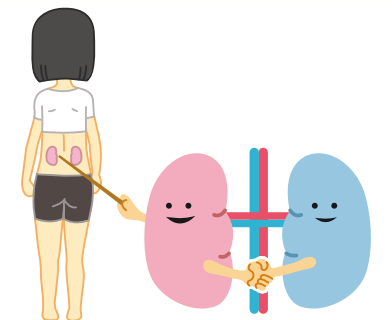
お腹にある腹膜を利用した透析です。お腹にカテーテルという管を挿入する必要があります。カテーテルから透析液を注入し、数時間腹腔内に貯めておくことで尿毒素が体から消えていきます。
毎日行う必要がありますが、自宅で簡単に行える治療です。通院が難しい高齢者や仕事が忙しく血液透析に通う時間が無い方にお勧めします。

●CKD指導外来

当院では慢性腎臓病(CKD)の患者さんを対象にCKD指導外来を開設しています。
すべて予約制です。指導は専属の看護師が担当します。
腎臓病について知りたい方や食生活や日常生活の送り方を聞きたい方はぜひご利用ください。

●糖尿病透析予防指導外来

糖尿病の合併症である腎臓病を放置しますと将来人工透析が必要になります。
そこで透析を回避する目的で、医師、看護師、管理栄養士がそれぞれの専門的な知識をもって個々の患者さんに指導を行います。すべて予約制です。



呼吸器・循環器内科

高性能CTスキャン、内視鏡などで胸部異常陰影の正確な診断をいたします。

入院が必要な肺炎は当科にご相談ください。

気管支喘息やアレルギー性肺疾患でお困りの方はご相談ください。

慢性呼吸不全の患者さんには、在宅酸素療法、訪問看護で日常生活をサポートいたします。

禁煙外来で無理なくタバコがやめられるよう、サポートいたします。

(令和5年3月現在休止中です。)

高性能超音波検査、運動負荷心電図、ホルター心電図などの検査を行っています。

心不全や不整脈の入院治療を行っています。

●呼吸の主役

肺はいくつあるでしょう。答えは、2つです。なぜ肺は2つあると思われますか。それはきっと、生き物にとってそれだけ大事だからでしょう。もう少し詳しく言いますと、右側の肺は、上、中、下の3つ(上葉、中葉、下葉)。左の肺は、上、下の2つ(上葉、下葉)に分かれています。鼻や口から吸いこんだ空気は、のどから気管、気管支という管を通して、肺に運ばれます。

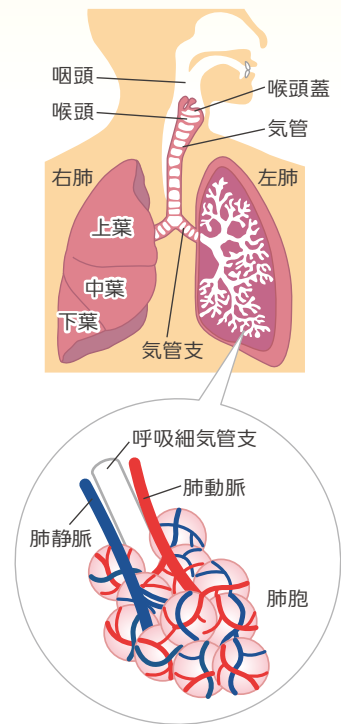
肺には、空気が出入りする無数の小さな袋(肺胞)がぶどうの房のようにたくさんあって、そこから体に必要な酸素を受け取り、また、いらなくなった二酸化炭素をはき出すのです。この小さな袋(肺胞)の直径は、0.2mm程度で数の子の粒より小さいですが、両方の肺を合わせると、なんと3億個にもなるのです。

●肺の病気

近年、肺の病気が増えています。とくに肺がんは、日本人男性の死因1位、女性では2位と、その数を増しています。肺がんが増えてきたのはなぜでしょう。原因はタバコです。タバコの煙の中には、**ニコチン、タール、一酸化窒素**など、タバコ3悪といわれる有害物質や、**60種類もの発がん性物質**が含まれています。その煙を毎日吸い込んだら、肺が悲鳴を上げてしまいます。

でも、タバコを吸わない女性にも、肺がんが増えているのはなぜでしょうか。それは、受動喫煙の影響だといわれています。タバコの煙は、喫煙時に、タバコやフィルターを通して吸い込む「主流煙」と、これが吐き出された「呼出煙」、およびタバコの中から立ち上る「副流煙」に分けられます。タバコの煙に含まれる有害物質は、主流煙よりも、副流煙に多く含まれているのです。ですからタバコを吸わない人でも、タバコを吸っている人の煙を長い期間吸い込んでいると(受動喫煙)、肺がんの発生率が高くなるのです。

肺の病気に限らず、がんや心臓病など、多くの病気にとってタバコの影響は、予想以上に大きいものです。あるデータでは、私たちの健康に与える悪影響で一番大きいものに、喫煙があげられています。病気の治療をする前にできることが、禁煙なのです。



血液内科

血液検査での異常や、リンパ節の腫れ、原因不明の発熱が続く場合はご相談ください。

●貧血

医学的に、貧血とは赤血球が減っている状態を言います。一般的な顔色が悪くなったり、ふらついたりすることではありません。原因は、大きく2つあります。1つ目は、どこから血液が失われていること、2つ目は、赤血球を造る材料が不足していることです。外傷で出血すれば当然ですが、内臓から少しずつ出血している場合は、自覚症状はありません。一番多いのが、胃や腸の消化管からの出血です。貧血があれば、まず胃腸の検査が必要です。

2つ目の赤血球を造る材料で、最も重要であるのが鉄です。鉄が不足する鉄欠乏性貧血が、貧血の中では一番よく見られます。鉄は肉や牛乳、野菜などに多く含まれています。普通の食事を摂っていて鉄が不足することはありません。成長期で、スポーツなどの激しい運動をすると鉄の消費が早く、鉄が不足する場合もあります。成長期の鉄欠乏性貧血です。この場合は鉄剤によって回復します。問題は、大人の鉄欠乏性貧血です。原因をしっかりと調べる必要があります。1つ目の胃腸からの出血が原因の場合もあります。

●白血球減少

白血球数が減っていることを言います。白血球が減る原因は、大きくわけて感染症と血液の病気です。薬剤の副作用ということもあります。1回目の検査で減少していても、2回目は正常ということもあります。詳しい検査が必要となりますので、受診をお勧めします。

●血小板減少

血小板数が減少していることを言います。血小板が減る原因も、感染症と血液の病気です。白血球と同じく薬剤の副作用ということもあります。10万以下なのか、5万以下なのかで対応が大きく異なります。急を要することもありますので、早めの受診をお勧めします。

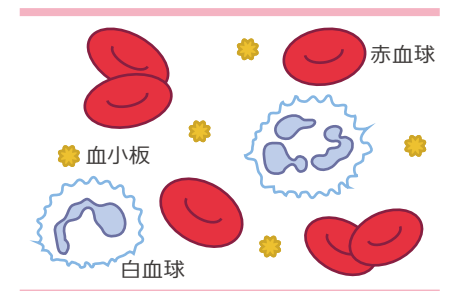
●リンパ節の腫れ

リンパ球は、外から入ってくるウイルスや細菌から身体を守る免疫の中心的な役割を果たしています。全身にリンパ管が張り巡らされており、リンパ球が移動して異物に備えています。その節目がリンパ節です。身体にウイルスや細菌が入り込むとその部分のリンパ節にリンパ球が集合して来ます。主に頸部と腋窩(脇の下)、そけい部(足の付け根)にリンパ節が集まっています。感染を起こした部位のリンパ節が腫れてきます。これがリンパ節炎です。一般にリンパ節炎は発熱と疼痛を伴っています。原因のウイルスや細菌を治療することによって治っていきます。

ところが、発熱も疼痛もなくリンパ節が腫れてくることがあります。この場合は、リンパ腫などの腫瘍による場合も含まれます。1cmを超える場合は、リンパ節を生検して調べることもあります。一度受診されることをお勧めします。

●原因不明の発熱

発熱の多くは感染症です。感染症の中で一番多いのが風邪です。次に多いのがいろいろな部位の感染症です。ところが病院で検査、治療しても熱が下がらず、原因が分からない場合があります。それを不明熱と言います。不明熱は、血液の病気が多く含まれます。また膠原病のような病気が隠れている場合もあります。詳しい検査が必要になりますので、血液内科の受診をお勧めします。



感染症、予防接種、発達の問題など、幅広く取り組んで「生まれてよかった」「病を診ず、人を診る」を大切に

います。
ています。

一般的な小児科診療を行っています。特に以下の分野に力を入れています。

●気管支喘息

できるだけ正確に重症度を評価し、それに応じた治療を行っています。発作が起きた時だけ治療を行うのではなく、発作予防にも力を入れています。

- 喘息コントロールテスト
最近4週間の状態を点数で記入していただきます。
- フローボリウム
機械に向かって思い切り息を吐く(吹く)検査です。気道が狭くなっていないか、気道の抵抗を測定します。
※コロナ流行期は、実施を見合わせる場合があります。
- 呼気一酸化窒素測定
気道の慢性炎症の指標である呼気一酸化窒素を測定します。

●発達障害・発達相談

まず、お子さんが感じている「困難」をできるだけ正確に聞き取り、ご本人・保護者・医療者が共有します。それを基に、日常生活での行動の工夫・学校との連携など、どうしていくか考えていきます。必要に応じて公認心理師による面接や検査も行っています。

●便秘

問診、レントゲン写真などで便秘の原因、便の貯留状態を評価します。整腸剤、緩下剤、下剤、漢方薬を組み合わせる治療を行っています。

●漢方薬治療

夜泣き、夜驚症などに積極的に漢方治療を行っています。

●起立性調節障害

「頭が痛くて朝起きられない」「無理して起きたら、めまいがして立ってられない」「身体がだるいけど、夕方には回復して、夜になると目がさえて布団に入っても寝付けない」「学校の遅刻や欠席が続き始めた」このような子どもの症状は、起立性調節障害が原因かもしれません。自律神経がうまく働かずに起こる病気です。

- 新起立試験法で血圧、脈拍を測定します。初診時は新起立試験を行いません。初診時に予約をお取りいただき、後日、試験を行います。
- 他の病気が隠れていないか、血液検査などを行います。
- 生活指導、薬の内服(起立時の血圧低下を抑える薬や漢方薬など)で治療します。

小児予防接種

小児の予防接種の予約はcollee(コレイイ)と電話で受け付けています。

予防接種専用：0766-52-7261 月～土曜日9:00～12:00(休診日のぞく)

乳児初期(乳児期の2回目の接種くらいまで)乳児期(通常、3歳ごろまでに接種するもの)乳児(だいたい3歳くらい)以降・小学生・中学生の予防接種を行っています。

- ※「collee(コレイイ)」は、(株)Innovationが提供する予防接種予約サービスです。
- ※小児科の予防接種・乳児健診は予約なしでもお受けになれますが、診療を円滑に行うため、できるだけご予約をお願いいたします。
- インフルエンザワクチンは完全予約制です。
- ※三種混合、A型肝炎ワクチンなどは取り扱っておりません。
- ※予約がない場合、待ち時間が特に長くなることがあります(車内待機可)。



天の川をイメージした待合い



小児科処置室



ベビーマッサージ教室

タッチケアの心はふれ愛

1歳の誕生日までのお子さんを対象に触れ合い(ふれ愛)の時間を設けたいと思います。お母さんとお子さんが触れ合うことで癒され、愛着や幸せ感を持ち、今後の育児に取り組もうとする意識を膨らませる機会になるような教室です。偶数月第3木曜日開催を予定しています。

- 場所 真生会富山病院
- 対象 1歳までの親子
- 参加費用 1回 1,000円(使用オイル代など込)
- 定員 2組程度
- 持ち物 水分補給の為の飲み物(母乳可) お子さんが使われるバスタオルは当院で準備しますが、お持ちいただいたものでも構いません。
- 講師 看護師(日本タッチケア協会認定指導者)
- 予約方法 ・collee(コレイイ)にて登録、予約
・お電話にて予約

※コロナ流行期は、実施を見合わせる場合があります。



乳児健診

- 身長、体重、頭囲、胸囲測定
- 運動発達
- 精神発達
- 社会性の発達

上記の観点からみています。

※原則として、健診では検査や処方を行っておりません。明らかに病的な状態であったり、病気かどうか心配なことがある方は、通常の診察で来院してください。

- 生後7ヶ月、10ヶ月、12ヶ月のお子さんが対象です。
- 予約制です。0766-52-7261(小児科予防接種・乳児健診専用)におかけください。
※collee(コレイイ)でも乳児健診の予約をお受けしております。

著書の紹介



子育てハッピーアドバイス
知ってよかった小児科の巻
増補改訂版
吉崎達郎 / 明橋大二 共著



子育てハッピーアドバイス
妊娠・出産・赤ちゃんの巻
吉崎達郎 / 明橋大二 共著



子育てハッピーアドバイス
ようこそ初孫の巻
吉崎達郎 / 明橋大二 共著

胃がん

ピロリ菌による胃炎が、胃がんの原因のひとつと言われています。胃がん予防の為に、積極的に除菌されることをお勧めします。
早期胃がんであれば、当院消化器内科で、胃カメラによる切除手術で十分治療できます。進行胃がんであれば、開腹手術が必要です。安全かつ確実な手術に心がけており、術後10日程度で退院可能です。



大腸がん

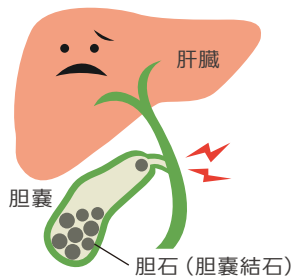
近年、大腸がんは増加しており、死亡率は肺がんについで2位となりました。
早期大腸がんは、内視鏡手術・腹腔鏡手術を行い病変を切除すれば、ほぼ100%治癒します。大腸がんの早期発見には便潜血検査を行います。当院では過去10年間で約200人の大腸がんの方を手術し、転移のなかった方は、ほとんど再発しておりません。また半数以上の手術は腹腔鏡で行っていますが合併症もほとんどありません。手術後1週間程度で退院可能です。

肝臓がん

当院では肝細胞がん、転移性肝がんに対して肝切除術を行っています。
昔は手術の際に出血量が多く、輸血が必要な場合が多々ありましたが、最近は技術の進歩で、出血量も少なく、輸血が必要になることはほとんどありません。
当院では安全を第一とし、これまで肝切除後の肝不全など大きな合併症や手術死亡はありませんでした。手術後、1～2週間で退院可能です。

胆石症

胆嚢の中に、コレステロールなどが固まり石ができる病気です。食事の変化により、増加してきています。
石が胆嚢の中にあるときには痛くありませんが、出口に詰まると右上腹部や背部に痛みを生じます。放置すると胆嚢が化膿します。石があっても痛みが無い場合は手術不要ですが、痛みがあるときには必要です。手術は1cm程度の創から腹腔鏡にて行います。手術後4日程度で退院可能です。



虫垂炎

一般的に盲腸(もうちょう)と言われています。盲腸先端の虫垂に膿が溜まる病気です。虫垂は太さ3mm程度の細長い管ですが、化膿すると1cm以上に腫れてきます。放置すると腹膜炎を引き起こすため、抗生物質の点滴や手術切除が必要です。
当院では臍部の1cmの創から腹腔鏡で手術を行います。このため、傷はほとんど残りません。また痛みも少ないです。手術後は2～3日程度で退院可能です。

鼠径ヘルニア

一般的に脱腸(だっちょう)と言われています。足の付け根の皮膚の下に腸の一部が出てくる病気です。子どもに多いと思われがちですが、むしろ成人に多い病気です。
当院で採用しているクーゲル法は、ナイロンメッシュ(網)で強く補強するため手術後は1～2日間は少し痛みがありますが、再発がほとんどなく、他のヘルニアも予防できる非常に優れた術式と言われています。全身麻酔で手術を行い、術後3～4日で退院可能です。

腸閉塞

開腹手術後などに小腸が癒着して流れが悪くなり、お腹が張ってガスや便が出なくなり、嘔吐する病気です。
まず、鼻から胃や小腸まで管を入れて減圧する保存的治療を行いますが、効果がなければ開腹手術をします。また、小腸の血行が悪くなる場合は、小腸が壊死するおそれがあるため緊急で手術を行います。手術後、1～2週間で退院可能です。



痔核・裂肛

一般的には、いぼ痔や切れ痔と言われ、多くの人が罹患します。肛門が腫れたり、痛んだり、出血する病気です。ほとんどの方は薬で治りますし、できる限り手術をせずに治療します。
いぼ痔の重症の方は、1週間の入院で手術治療を行います。中等度の方は、ALTA治療と言われ、薬剤を痔核に注射して治療します。手術と同じ効果が得られ、痛くない治療のため、入院は不要です。

手術件数

令和4年(2022年)			令和4年(2022年)	
内容	内訳	件数	内容	件数
がん切除術 (計43件)	胃がん(開腹・腹腔鏡)	10	腹腔鏡下ヘルニア手術(腹壁癒着ヘルニア)	1
	大腸がん(開腹・腹腔鏡)	32	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	1
	肝がん(肝切除術)	1	肛門手術	24
結腸切除術(結腸半側切除)		1	中心静脈注射用植込型カテーテル設置	31
小腸切除術(開腹・腹腔鏡)		4	腹膜透析カテーテル留置術	2
人工肛門造設術(開腹・腹腔鏡)		7	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	4
人工肛門閉鎖術		1	リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1
腸管癒着症手術(開腹・腹腔鏡)		2	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	1
虫垂切除術(開腹・腹腔鏡)		12	腹腔鏡下噴門形成術	1
腹腔鏡下胆嚢摘出術		31	腹壁膿瘍切開術	1
鼠径ヘルニア手術(開腹・腹腔鏡)		27	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm未満)	1
			合計	196

麻酔科

安全で患者さんにやさしい麻酔を

社団法人日本麻酔科学会認定の麻酔科専門医が常勤。
術中、術後のきめ細かい全身管理と疼痛管理を行っています。

麻酔科について

麻酔とは手術による痛みやダメージから患者さんをお守りする医療行為です。

人口の高齢化に伴い、心臓病や脳血管障害などのさまざまな病気を患っておられる方が手術を受けられるようになり、近年特に麻酔には高い安全性が求められています。
当院麻酔科では社団法人日本麻酔科学会認定麻酔科専門医が常勤し、術中、術後のきめ細かい全身管理と疼痛管理に心がけ、安全で優しい麻酔をお届けできるようスタッフ一同努力しています。

麻酔件数

令和4年(2022年)	
内容	件数
全身麻酔	693
脊髄くも膜下麻酔(腰椎麻酔)	9
麻酔科管理症例(合計)	702

※全身麻酔には伝達麻酔併用を含みます。

最新鋭で安全なレーザー治療機器を用いたシミ、ホクロ、アザの治療、イオン・超音波導入も行っています。

アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の最大かつ根本的な原因は乾燥肌の体質です。ステロイド軟膏、タクロリムス軟膏、保湿剤を中心とした標準治療を行っています。その他、生物学的製剤（デュピクセント）の注射、漢方薬、免疫抑制剤、紫外線治療、食事療法も行っています。

ニキビ

ニキビは青春のシンボルではありません。ひどいニキビを放置すれば凸凹痕が残ります。ニキビのA級治療は、アダパレン（塗り薬）、過酸化ベンゾイル（塗り薬）、ミノサイクリン（飲み薬）です。

水虫（足白癬）

足の乾燥？ 爪の汚れ？ いいえ、水虫です。水虫はカビの一種です。家族にうつす前に治しましょう。

男性型脱毛症

「毛は長〜い友だち」と書くと、「髪」になります。薄毛、あきらめていませんか。

円形脱毛症

ストレス？ いいえ、ホルモン異常かもしれません。

主婦湿疹（手あれ、あかぎれ）

「指紋がなくなりました」手あれは主婦の宿命なので主婦湿疹ともいいます。1に保湿、2に保湿。

がん

そのホクロ、大丈夫？ 皮膚がんかもしれません。

ウイルス性イボ

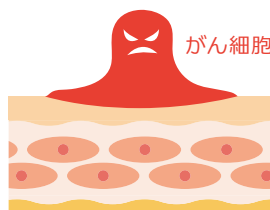
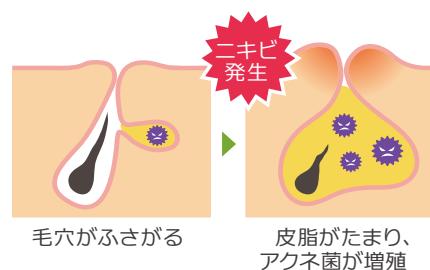
ウオノメだと思ったら、増えてきた。それはイボかもしれません。イボは人にも自分にもうつります。

顔や首のイボ

40歳を過ぎてできる、顔の黒いデキモノ。首の小さいデキモノ。冷凍治療の対象です。

陥入爪

足の爪が食い込んで痛い。深爪が原因かもしれません。



多汗症

緊張すると手から汗がしたたり落ちる。わきの汗で困っている。塗り薬、飲み薬、ボトックス注射を行っています。

ホクロのレーザー治療

ホクロの除去に炭酸ガスレーザーを使用しています。痕が残りますが、月日と共に薄くなります。保険適用の治療もあります。

シミ・アザのレーザー治療

ルビーレーザーを用いて、シミ、アザの治療を行っております。痕を残さない安全な治療法であり、痛みはほとんどありません。一円玉の大きさで、約12,000円です。

ピアス

耳に麻酔をして、専用の器具でピアスをします。1個（片耳）2,500円です。

※表示料金は、令和4年(2022年)10月現在のものです。現在の料金は窓口等でお尋ねください。

乾癬

赤くなって、カサカサと粉が落ちる乾癬。生物学的製剤の注射の治療を行っています。2ヶ月に1回の点滴で、ビックリするほどキレイになります。

イオン・超音波導入

微弱電気と超音波の振動により、老化予防成分（ビタミンC、アルジルリン、MS-PMD）を皮膚の深部にまで浸透させます。エイジングケアにお勧めです。

手術、検査、美容手技件数

令和4年(2022年)		
内容	内訳	件数
手術	ほくろのレーザー治療、良性腫瘍摘出術	426
	陥入爪手術	7
	皮膚悪性腫瘍摘出術	1
検査	皮膚生検	66
	パッチテスト	35
美容	シミ、あざのレーザー治療	329
	ピアス	118
合計		982

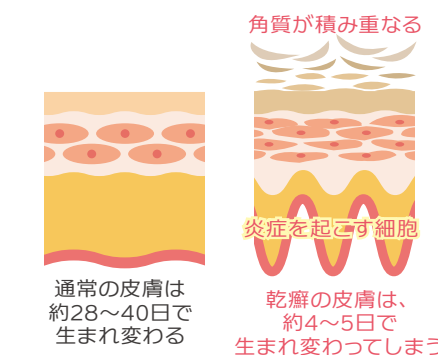
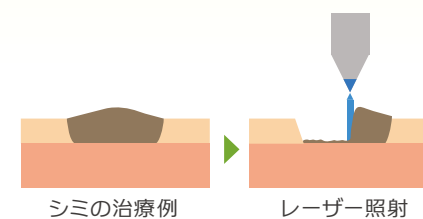
●ウルトラパルスの炭酸ガスレーザーを用いて、きれいで迅速な腫瘍の切除を行っています。適応疾患は、ホクロ、老人性疣贅（イボ）、眼瞼黄色腫、指の粘液嚢胞などです。

●ルビーレーザーにより、シミやアザ（老人性色素斑、太田母斑、扁平母斑、異所性蒙古斑、いれずみ）の治療をしています。

●赤いアザ（血管腫）のレーザー治療はしていません。

●陥入爪のフェノール法による手術や、ワイヤー矯正も行っています。

●しみ、くすみ、ニキビ跡、シワ、たるみなどに対して、イオン導入、超音波導入も行っています。



生活の質“Quality of Life”向上に貢献します。

皮膚のできもの、巻き爪、わきが、眼瞼下垂、傷をきれいに治したい方、ご相談ください。

皮膚や皮下脂肪のできもの

良性、悪性（皮膚がん）ともに、あらゆる“できもの”を診療します。
「昔からあるけど、ずっと気にしている」「少しずつ大きくなってきた」「これって、癌かも・・・」どんなことでもご相談ください。



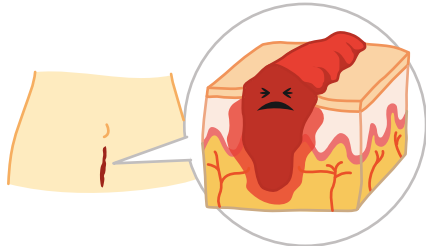
キズ、ケガ、やけど

切り傷、すり傷、刺し傷、動物に咬まれた傷など、どんな傷にも対応します。
骨折や神経損傷があれば、整形外科を紹介します。
深いやけどの場合、手術が必要になることがあります。



傷あと、ケロイド

手術やケガの“あと”がふくらんでいる、目立って困る・・・
それらの後遺症は、手術や薬物治療、圧迫治療などで治せることがあります。



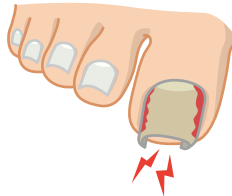
まぶたの下がり

眼瞼下垂症ともいいます。年齢とともに、まぶたは下がるものです。
見えにくい場合、手術を行って視野を広げることができます。
※美容目的ではありません。



巻き爪

爪切りやテーピング、ワイヤー矯正などが効かない場合、手術で治せることがあります。



手術件数

令和4年(2022年)			
内容	件数	内容	件数
皮下良性腫瘍	367	瘢痕（傷あと）、ケロイド	5
皮膚悪性腫瘍（皮膚がん）	14	褥瘡、やけど、皮膚潰瘍	5
軟部腫瘍	8	壊疽	12
顔面・四肢の外傷	30	眼瞼下垂	5
陥入爪（巻き爪）	15	その他：口唇変形、臍ヘルニア、爪変形、毛巣洞	7
		合計（全身麻酔 13件 局所麻酔 455件）	468

心のコリをほぐしましょう。 完全予約制で、ひとりひとり丁寧に診療します。

こんな病気を診ます

- 精神疾患一般（うつ病、神経症等）
- 児童、思春期の神経症、心身症、不適応行動
- 不登校、引きこもりの家族相談
- 自閉症スペクトラム、ADHDなどの神経発達症（発達障害）

当科の特色

- 完全予約制で、ひとりひとり丁寧な診療を心がけています。
- 児童の遊戯療法も必要に応じて行っています。
- 夕方は午後7:00まで受付なので、親御さんがお勤めの方も、診療可能です。

受診を希望される方は、あらかじめ心療内科受付までお電話いただき、予約をお取りください。
当院には精神科の病床はない為、入院が必要な方は、他の適切な病院をご紹介します。

著書の紹介



なぜ生きる
高森顕徹（監修）
明橋大二/伊藤健太郎（共著）



子育てハッピーアドバイス
明橋大二（著）



子育てハッピーアドバイス2
明橋大二（著）



子育てハッピーアドバイス3
明橋大二（著）



忙しいパパのための子育て
ハッピーアドバイス
明橋大二（著）



子育てハッピーアドバイス
大好き！が伝わるほめ方・叱り方
明橋大二（著）



子育てハッピーアドバイス
大好き！が伝わるほめ方・叱り方2
明橋大二（著）



生きづらいHSPのための、
自己肯定感を育てるレッスン
高木のぞみ/高木英昌（著）



みんな輝ける子に
明橋大二（著）



見逃さないで！子どもの心のSOS
思春期に がんばってる子
明橋大二（著）



親と子の心のパイプは、
うまく流れていますか？
明橋大二（著）



HSCの子育てハッピーアドバイス
明橋大二（著）

■ 耳の治療

難聴、耳鳴り、めまいを治療します。

まず、しっかりと原因を調べ、原因に応じて、薬や手術を選択して治療します。耳鳴りや難聴に対する薬物治療の研究では、論文「急性低音障害型感音難聴の治療薬剤について（真鍋医師）」が日本耳鼻咽喉科臨床学会の平成17年（2005年）最優秀賞を受賞しました。手術で治るタイプの難聴には積極的に手術治療を行っています。年齢性の難聴では補聴器を用いた聴覚リハビリで快適な日常を送っていただくことを目指しています。難治性のめまいや耳管開放症にも最新の治療法を採用しています。

■ 鼻の治療

アレルギー性鼻炎や花粉症にはまず内服治療を行います。慢性的な症状の方には体質改善のための舌下免疫療法をお勧めします。それでも症状が取れにくい時は、外来での高周波電気凝固療法や入院で行うアレルギー神経の切断手術を行います。鼻の手術は、いずれも内視鏡を使って鼻の中から行います。鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、後鼻神経切断術、副鼻腔手術は慢性的な鼻づまりに高い効果があります。徳永医師は日本アレルギー学会専門医であり、平成27年（2015年）に好酸球性副鼻腔炎の研究で同学会の学術大会賞を受賞しました。難治性の副鼻腔炎には手術だけでなく抗体治療も行っています。

■ のどの治療

日中の眠気でお困りの方に、睡眠時無呼吸症の検査を行い、マウスピース、CPAP治療や手術など、その方に応じた最適の治療を選択し行っています。また、慢性上咽頭炎に対して上咽頭擦過治療（Bスポット治療）を行っています。

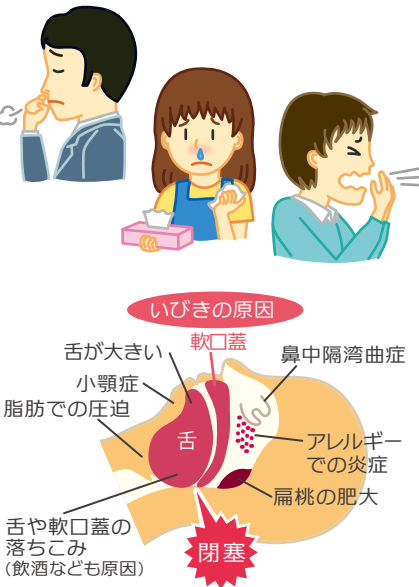
■ 手術件数

令和4年（2022年）

耳領域（計292件）	
手術内容	件数
鼓膜切開術	73
鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	76
鼓膜形成手術	11
鼓膜穿孔閉鎖術	6
乳突削開術	34
乳突充填術	2
鼓室形成手術（耳小骨温存術）	20
鼓室形成手術（耳小骨再建術）	27
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術（上鼓室・乳突洞開放を伴う）	5
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術（上鼓室開放を伴わない）	10
アブミ骨摘出術	1
外耳道異物除去術（単純）	11
外耳道異物除去術（複雑）	2
外耳道腫瘍摘出術（外耳道真珠腫手術を含む）	4
先天性耳瘻管摘出術	2
内耳窓閉鎖術	3
内リンパ嚢開放術	2
顔面神経減圧手術（乳様突起経由）	3

鼻副鼻腔領域（計227件）	
手術内容	件数
鼻腔粘膜焼灼術	44
内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型（汎副鼻腔手術）	41
内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	8
内視鏡下鼻・副鼻腔手術2型（副鼻腔単洞手術）	4
内視鏡下鼻中隔手術1型（骨、軟骨手術）	40
内視鏡下鼻腔手術1型（下鼻甲介手術）	33
下甲介粘膜焼灼術	16
経鼻腔の翼突管神経切除術	26
鼻骨骨折徒手整復術	7
鼻内異物摘出術	2
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	1
鼻茸摘出術	3
変形外鼻手術	1
上顎骨折観血の手術	1

咽喉頭頸部領域（計140件）	
手術内容	件数
口蓋扁桃手術（摘出）	44
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	2
扁桃周囲膿瘍切開術・咽後膿瘍切開術	10
軟口蓋形成手術	3
アデノイド切除術	18
咽頭異物摘出術	14
喉頭形成手術	3
喉頭・下咽頭腫瘍摘出術（直達鏡）	2
喉頭・声帯ポリープ切除術（直達鏡）	6
舌腫瘍摘出術	3
唾石摘出術（表在性）	6
顎下腺摘出術	3
顎関節脱臼非観血的整復術	1
甲状腺悪性腫瘍手術	2
甲状腺良性腫瘍手術	5
気管切開術	4
耳下腺腫瘍摘出術	5
嚥下機能改善手術・誤嚥防止手術	2
深頸部膿瘍切開術	2
その他	5



■ 五感の重要性

生活を豊かにする「五感」

五感とは、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚を言い、私たちが毎日の生活を楽しむ上で、とても大切なものです。普段の何気ない食事でも、五感の活躍で楽しく食べることができます。まず、綺麗に盛り付けられた食材を見て楽しみ、漂ってくる香りを嗅いで「早く食べたいな」とワクワクします。いざ口に入れ、歯で噛んだ時の音や食感を楽しみ、次いで口に広がる味で美味しい!と感じ、とても幸せな気分になります。これがもし「胃の中に入れたら栄養は同じだよ」と言って、無味無臭無色の物体を食べようと思うでしょうか。一口食べても、もう一口食べようとは思いませんね。食事だけではありません。あなたにとって大切な趣味でも、五感がなければ楽しめないものはたくさんあるでしょう。私たちの生活を豊かにする上で、五感はとても大切なものだわかります。

若々しい脳を保つために

健康寿命を延ばそうと盛んに言われていますが、体が元気でさえあれば良いわけではありません。五感をみずみずしく保つことは豊かな生活を送るために大切なだけでなく、若々しい脳を保つ上でも、とても大切です。物を見る時は目、音を聞く時は耳など、何かをしようとする時は五感を意識して働かせています。しかし、五感を意識していない時にも、五感を司る体の器官と脳とは、盛んに情報をやり取りし、私達が安全な日常生活を送るように働いてくれています。喫茶店でくつろいでコーヒーを飲んでいるとしましょう。あなたがくつろいでいられるのは、「このコーヒーはいつもと違うな」と味覚が働いているだけでなく、あなたの身に危険な音、匂い、物体、環境がないことを、五感が休みなく働いて、「ここは安全だよ」という情報をずっと脳に送り続けてくれているからなのです。五感が衰えた人生は、想像するだけでも、とても味気ない人生ですが、五感が衰えると脳は情報のシャワーが途絶え、一気に活動が低下してしまいます。難聴の人が認知症になる確率が高いのは、その一例です。

■ 急性低音障害型感音難聴とは

急に現れ（急性）低い周波数の音だけが（低音障害型）聞こえにくくなる（感音難聴）病気です。

次のような症状が出ます

- 耳に水が入ったような感じ
- 周りや自分の声が響く
- 「ゴーツ」という低い音の耳鳴り など

ある日、突然、このような耳の症状が現れます。軽いふらつきが出ることもありますが、ほとんどは上に書いた耳の症状です。よく似た病気に、突発性難聴、メニエール病があります。突発性難聴に比べ、急性低音障害型感音難聴は治りやすいのですが、長引いたり、再発を繰り返すことがありますので、自覚症状がなくなったから治ったと考え、治療を中断しないようご注意ください。

原因

睡眠不足、ストレス、体の慢性的な疲れ、風邪などが原因で起こります。若い人に多い病気と言われていましたが、最近、増えているのが50代、60代、あるいはそれ以上の高齢の方の急性低音障害型感音難聴です。年齢に伴う動脈硬化、体力の低下が関係しているのではと考えています。

どこが悪いのか

- 内耳(蝸牛)のリンパ液の流れが滞る場合
睡眠不足、ストレス、体の慢性的な疲れが蓄積すると内耳にリンパ液を溜めるホルモンが過剰に分泌され、内耳がリンパ液でむくんだ状態になります。そのむくみが原因で難聴となります。
- 内耳(蝸牛)の血液の流れが悪くなる場合
動脈硬化、低血圧、年齢に伴う体力低下などを原因として内耳の血液の流れが悪くなると内耳の音を聞く細胞の働きが悪くなり、難聴が起こります。



眼科医療の専門施設

最先端眼科センター

アイセンターとは外来から手術、入院までをトータルでサポートする目の専門施設です。

医師、看護師、視能訓練士などが連携するチーム医療により、患者さんひとりひとりに最適な医療を提供します。

十分な検査体制

- 豊富な検査スペース
視野検査室、眼科撮影室など各種精密検査ごとにくつもの検査室を完備。
視力検査は同時に6人が受けられる斬新なレイアウトが特徴です。
- 眼科検査のプロフェッショナル集団
多数の視能訓練士が最新鋭の検査機器を用いて、幅広い検査に対応します。

患者の皆様を第一に考えた治療設備

- 入院、手術に万全の体制
眼科専用の手術室と病棟を併設。
アイセンター専属のスタッフが入院から手術、術後管理まで担当します。
- 眼科手術のためだけに用意された空間
手術室は眼科に特化した機能と設備で、日帰り手術から緊急手術まで速やかに対応します。

独自の眼科システム

- 患者さんの基本情報や治療計画などを管理する「サマリー機能」
- 手術の予約や同意書発行を行う「手術管理機能」
- 検査データや画像を管理する「検査管理機能」

当院は、この3つのシステムを開発し、常にカスタマイズしながら、患者さんが治療に専念しやすい環境の提供に努力しています。

こんな病気を診ます

白内障手術をはじめ網膜硝子体手術、抗VEGF薬注入療法、光線力学療法、緑内障手術、涙道手術、眼瞼手術、斜視手術、エキシマレーザー手術など、前眼部から後眼部まで網羅しています。

またロービジョンケア、オルソケラトロジー、斜視・弱視への視能訓練も行っています。近視の方へは、レーシックもしくはICL(有水晶体眼内レンズ)での視力矯正の実績が多数あります。

ホームページ・パンフレットでさらに詳しい内容をご覧くださいませ。

- 真生会富山病院 アイセンター
<https://www.shinseikai.jp/department/eyecenter/>



真生会富山病院
アイセンター



手術室



ロービジョン室



レーシック手術室

専門外来(予約制)

専門外来はすべて予約制となっています。

血液外来

火曜 昼外来
担当医師：刀塚 俊起

早期発見、早期治療を。

すべての血液、免疫疾患の診断を行っています。速やかな検査と的確な診断にて早期発見、早期治療を目指しています。

- 白血病、各種の貧血、血友病、骨髄腫、悪性リンパ腫などの血液疾患をお持ちの方
- リウマチや膠原病などの免疫疾患をお持ちの方

お通じ外来(便秘専門外来)

火・水・土曜 午前
担当医師：真野 鋭志

便秘でお困りの方は一度、受診してください。

便秘の有病率は人口の10%を超えと言われ、悩んでいる人は、世にあふれています。

便秘治療には、排便状況、便の性状、食生活、ストレスなど十分な問診による便秘のタイプの診断と、それに応じた具体的な生活指導、適切な投薬が不可欠です。

- 慢性的な便秘でお困りの方
(通常の外来診察の時間内に、お通じ外来の希望者も診察となります。)

肩専門外来

月曜 17:00～18:45
担当医師：太田 悟

四十肩、五十肩とあきらめていませんか。

五十肩、腱断裂、反復性脱臼、石灰性腱炎、関節拘縮などの肩の痛み、肩専門医が適切な検査・治療を提案します。傷の小さい肩関節鏡手術を多く手がけています。

糖尿病外来

火曜 昼外来
担当医師：平谷 和幸

きめ細かい診療で、合併症を防ぎます。

管理栄養士や看護師(日本糖尿病療養指導士)と協力し、生活習慣、食生活の改善、運動療法を基本に、きめ細かい診療を行っています。

医療スタッフと患者さんが一緒になって、病に立ち向かえるように頑張っています。

神経外来

火曜 昼外来
担当医師：豊田 茂郎

脳波診断、MRI、MRA診断を行い脳血管障害、認知症の精度の高い診断治療を行っています。

神経変性疾患、神経系感染症、脱髄疾患、脊髄疾患、末梢神経障害、筋疾患、頭痛等の疾患において、基本的な診断、治療を行っています。

ピロリ外来

月・水・木曜 午前
担当医師：平名 浩史

現在、2～3人にひとり、ピロリ菌に感染していると言われています。

ピロリ菌除菌療法が、胃炎でも保険適応になり、平成25年(2013年)から除菌治療薬も使えるようになりました。除菌成功率も向上傾向です。

ちょっとした胃の調子の悪い人は、ぜひ胃内視鏡検査での胃炎の有無のチェックを受けることをおすすめします。内視鏡検査で胃炎を確認された人はピロリ菌のチェックが保険で可能です。ピロリ菌について、何か心配なことがありましたら、受診してください。

眼科専門外来

角膜、ロービジョンの専門外来があります。

- 角膜外来 月1回(金)
- ロービジョン外来 毎週(水・木) 10:30～

関節リウマチ専門外来

月曜 17:00～18:45
担当医師：太田 悟

関節リウマチは早期発見、早期治療が大切です。

採血、レントゲン、必要に応じエコー、MRIによる診断を行っています。アンカードラッグであるリウマトレックスを処方いたします。

嚥下外来

木曜 午後
担当医師：佐々木 彰一

「むせる」「飲み込みにくい」「痩せてきた」
お困りの方はありませんか。

嚥下とは、食べ物・飲み物を飲み込むことをいいます。上記のお悩みは、上手く飲み込めないために、起こっているのかもしれない。飲み込みのトラブルをそのままにしておくと、どんどん痩せて動けなくなったり、肺に食べ物を詰めて肺炎を起こしたり、最悪の場合、窒息事故を起こすことがあります。嚥下外来は、飲み込みのトラブルの原因を調べ、改善するための外来です。

漢方外来

金曜3回、土曜1回の月4回
担当医師：小川 恵子・平名 浩史・清水 和彦

患者さんの体質や症状に合わせたオーダーメイド漢方医療

漢方医学の知識を備えた医師による診察、漢方専門の薬剤師による生薬本来の薬力を十分に引き出す加工調剤、鍼灸治療を併せた、新しいカタチの統合医療トータルケアを提供します。

リハビリテーション科

多職種と連携し、身体的・精神的・社会的に
生きがいのある生活を送れるように支援します。

リハビリテーションとは

リハビリテーション (rehabilitation) は、re『再び』、habilitation『適合した、ふさわしい』という意味を表します。機能回復のみではなく、障害によって身体的・精神的・社会的に不利になった方々に、その方らしい生活を取り戻し、地域社会へ参加できるよう総合的に支援することです。

当院では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のリハビリ専門職に加え、柔道整復師・マッサージ師とともにリハビリを進めていきます。

● 理学療法士

基本動作(座る・立つ・歩くなど)ができるように機能の回復や維持を支援します。
筋力や関節の動きを改善する運動療法や物理療法(温熱・電気刺激など)も行います。



● 作業療法士

病気やけが、加齢などで生活に支障をきたした方々に対し、可能な限り機能回復を目指すとともに、着替えやトイレといった日常生活動作の練習、調理などの家事動作練習、社会復帰に向けた支援等を行います。
個々の生活に応じた作業活動を通して「その人らしい生活」が送れるようにお手伝いいたします。
また、必要に応じて福祉用具の提案や環境調整の支援を行います。



● 言語聴覚士

コミュニケーション(言語、聴覚、発声、発音、認知機能)や飲み込みに問題がある方々に対して、検査、リハビリ、指導などを行い、機能維持・改善を目指します。
笑顔で会話をしたり、安全に食事がとれるよう、ご本人とご家族をサポートします。



● 柔道整復師・マッサージ師

骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷(軟部組織破損)などに対して、回復を図るための処置を行います。
疾病の予防、身体の凝りや痛みを和らげることを目的に、身体の各部位のマッサージを行います。



医師・看護師・医療相談員・管理栄養士など多職種と密に連携をとり、患者さんに満足していただける質の高いリハビリテーションが提供できるよう、スタッフ一同努めていきます。
明るく、開放的なリハビリ室で一緒にリハビリに取り組みましょう。

救急診療

救急で受診される方へ

年中無休24時間対応ができるよう、診療時間外には日当直医が待機していますが、病状によっては対応いたしかねる場合がございます。ご来院前に**必ずお電話(総合受付:0766-52-2156)**にて病状をお知らせいただきますよう、お願いいたします。

休日は、射水市医師会での休日当番医がありますので、射水市医師会ホームページ等でご確認ください。

診療時間中は総合受付へ、時間外は正面玄関が閉まっていますので、南館の**時間外出入口**から入り、**時間外受付**(小児科受付)へお越しください。



時間外出入口は南館にあります。
夜間は足下にお気をつけください。



時間外出入口から入ると、時間外受付(小児科受付)は通路を進んで右側です。



■ 緩和ケアセンターとは

生命を脅かす病気(がんなど)の患者さんとその家族の、心身の苦痛などさまざまな苦しみの緩和を担当しています。

診断された時から、がん治療の経過中に経験するさまざまな苦痛や症状の緩和のご相談を、医師・看護師・薬剤師等の専門スタッフがお受けします。

緩和ケアとは

生命を脅かす疾患に直面している患者さんとその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確にアセスメントと対処(治療・処置)を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を改善するアプローチである。
(2002年世界保健機関(WHO)の緩和ケアの定義 より引用)



■ 治療とケアを同時に提供できる体制と空間を実現したい

緩和ケアセンターは、平成26年(2014年)より消化器内科診察室を使用して、外来診療を始めました。診断時から治療医と連携して心身のサポートを行ってきました。次第に院内外からの紹介が増え、当センターと外来化学療法室の両方を利用される方も多くなりました。

外来化学療法室は、平成21年(2009年)から外来化学療法を行ってきました。その後、がん治療だけでなく、慢性炎症性疾患などの治療や緩和ケア対象の方への補液や輸血などにも対応するようになりました。現在では、緩和ケアセンターと協働し、看取りまでの在宅療養支援を行っています。



ゆったりお過ごしいただける
明るい治療室



プライバシーに配慮した
個室も完備



広々として使いやすい
車いす専用トイレ



スタッフルームに看護師が待機
きめ細やかなサポート

■ 外来化学療法室について

明るく快適なスペースで化学療法が受けられます。

外来患者さんの抗がん剤治療、関節リウマチや潰瘍性大腸炎などの治療の他、それぞれの疾患に応じた生活相談や指導を行っており、明るく静かなスペースで精神面のリラックスを提供できるよう配慮しています。

治療しながらテレビを見たり、点滴を行ったまま気兼ねなく利用いただけるようになっています。

緩和ケアセンターと連携して、ひとりひとりの患者さんに安心・満足していただける質の高い外来化学療法を目指しています。



緩和ケアセンターの診察室は対面して説明できる診察机と広く明るいスペースで、外来化学療法患者さんの診察や、専門看護外来としても活用しています。

■ 外来化学療法件数

令和4年(2022年)

内容	内訳	件数
化学療法(計527件)	内科	380
	外科	121
	消化器内科	26
レミケード(計93件)	整形外科	4
	皮膚科	6
	消化器内科	62
	眼科	20
内科		1
アクテムラ		78
オレンシア		61
エンタイビオ・ステラーラ		26
輸血		58
補液		251
内服抗がん剤		248
合計		1,342



緩和ケアセンター、外来化学療法室 担当医師
(左端) 緩和ケアセンター副センター長 高木 英昌 医師
(右端) 河相 寛 医師(消化器内科部長、緩和ケアセンター部長(兼任))

食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、消化器系臓器全般の診療を行っています。

肝臓、胆道、膵臓疾患など

消化器センターとは

食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆のう・膵臓など腹部の病気を担当しています。

こんな方は受診してください

胸やけ、胃もたれ、吐き気、胃痛、腹痛、便秘、下痢などでお困りの方、健康診断で肝機能異常を指摘された方、胃検診や大腸がん検診で異常を指摘された方、胃腸、肝臓、胆のう、膵臓などの検査を希望の方は、当科を受診してください。

苦痛のない内視鏡検査を心がけています

胃内視鏡検査は、鎮静剤を使い、苦痛の少ない検査に努めています。最新の高画質細径スコープを用いて、経鼻内視鏡検査も行っています。のど麻酔が不要で、つらいのど刺激がなく、楽に検査を受けることができます。（鎮静剤の注射は、診察医の許可のない方、高齢の方、当日検査後に自動車・バイク・自転車等の運転をされる方には行いません。鎮静剤を希望される方は、受診時に医師と相談してください。）

ピロリ菌の除菌療法をしています

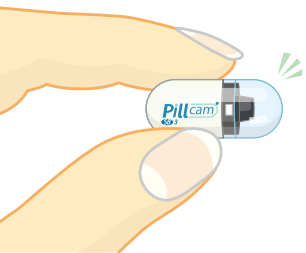
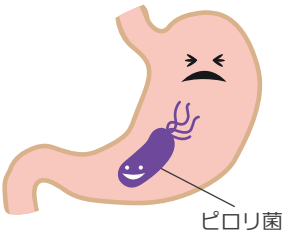
ピロリ菌の胃への感染が、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんの発生、再発に関与しています。胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍の方にピロリ菌の検査を行い、ピロリ菌陽性の場合には除菌療法をおすすめし、胃・十二指腸潰瘍や胃がんの予防に努めています。

内視鏡治療を行っています

早期食道がん、胃がん、胃ポリープの内視鏡的切除術、早期大腸がんならびに大腸ポリープの内視鏡的切除術、総胆管結石における内視鏡的ドレナージ・砕石・排石治療、膵・胆道系疾患による閉塞性黄疸に対する内視鏡的治療、食道静脈瘤に対する静脈瘤結紮術（じょうみやくりゅうけっさつじゅつ）、経口摂取困難な方への胃瘻造設術、がんによる消化管閉塞に対する消化管ステント留置術などを行っています。

カプセル内視鏡を導入しました

小腸カプセル内視鏡は、従来のスコープを使った内視鏡では届かなかった小腸を見るために開発された検査です。長さ2.6cm、幅1.1cmのカプセルを飲むことでほとんど苦痛なく全小腸を観察することができます。同時に大腸カプセル内視鏡も導入しました。大腸内視鏡検査が必要な方で、以前の内視鏡で全大腸を観察できなかった、もしくは腹部手術歴があり癒着が想定される場合に保険適応となります。お気軽にご相談ください。



肝炎や肝臓がんの検査治療を行っています

肝臓専門医3名が常勤しており、経口抗ウイルス剤によるC型肝炎、B型肝炎の治療を行っています。また、肝臓がんの早期診断として超音波検査（造影エコーを含む）、CT、MRI、肝生検、血管造影などを行っています。肝臓がんの治療には、経皮的ラジオ波焼灼術（RFA）や肝動脈化学塞栓術（TACE）、肝切除術（当院肝臓外科医による）を行っています。

敏感おなか外来を行なっています

検査したが「病気でありません」「薬はありません」と言われて、症状が続いてる人は、「敏感おなか」の人かもしれません。漢方治療や腸内細菌叢の点から対処することで軽快することがあります。お困りの方は、一度ご相談ください。

24時間救急診療・在宅診療体制をとっています

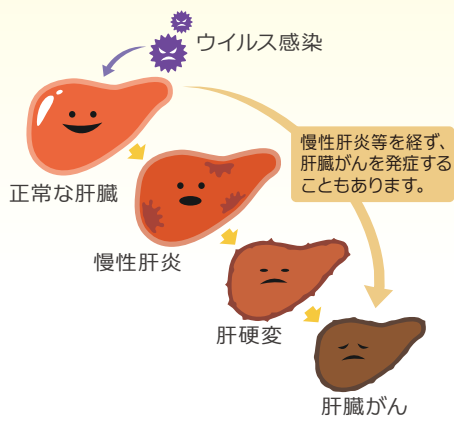
消化器内科医は24時間オンコール体制をとり、吐血、下血、腹痛、黄疸などの救急疾患に対して、緊急内視鏡による止血術や内視鏡的減黄術などの治療のほか、外科医と連携し、消化器疾患の救急診療に当たっています。また、在宅診療では経腸栄養、消化器がんの終末期医療など、訪問看護師と協力して診療に当たっています。

外科と協力体制をとっています

外科とは週2回、合同の検討会（術前・術後カンファレンス）を持ち、常に連携して、診断から治療までの期間短縮に努めています。

内視鏡・手術件数

令和4年（2022年）			令和4年（2022年）	
検査内容	内訳	件数	手術内容	件数
上部消化管内視鏡	治療96件	4,629	早期胃・食道がんに対する粘膜下層剥離術	18
下部消化管内視鏡	治療556件	1,505	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	15
内視鏡的膵胆管造影	治療40件	40	消化管ステント留置術	20
カプセル内視鏡		7	消化管止血術	29
(但) 内視鏡検査と重複する手術件数は合計から除いています			肝がんに対する肝動脈化学塞栓術	9
			肝がんに対するラジオ波焼灼療法	4
			胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	22
			胃瘻拔去術	1
			胸水・腹水濾過濃縮再静注法	22
			内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	2
			食道狭窄拡張術（拡張用バルーン）	4



腎透析センター（泌尿器科・透析室）

泌尿器科、腎臓内科、透析室が連携して、より一層安心、満足できる治療を目指します。

透析治療を始める方に、安心して生活を送っていただくためのサポートを

ある日を境に、透析治療を受けなくてはならなくなった腎不全の患者さんの多くが悩み、不安を感じるものですが、皆さんはひとりぼっちではありません。働きの落ちた腎臓の代わりに人工透析を行い、健康な人とほとんど変わらない生活を送ることができるのです。透析を生活の一部と考え、仕事や旅行、スポーツへと生活の幅を広げていただけるようにスタッフ一同取り組んでいきます。



リニューアルした透析センター

透析室

当院は現在35床の透析ベットを有しております。また夜間透析も開始しており、月・水・金曜日の午後7時から透析治療を行っています。最近では高齢者の透析治療が増えており、中でも歩行困難への対応に力を入れて取り組んでいます。管理栄養士によるベッドサイドでの食事相談、理学療法士による運動リハビリ、看護師によるフットケアなど多職種が連携し、透析治療の時間をできるだけ有効に活用して元気な体作りを目指しています。それでもひとりで通院することが難しい人のためには病院車による無料の送迎サービスを行っています。どの地域からでも安全にお越しいただき、安心と満足の透析治療が受けられるようこれからもスタッフ一同力を注いでまいります。

当院では各種の血液浄化療法を行います

- **血液透析** 透析膜を介して血液側から透析液側へ溶質の拡散と限外ろ過によって、以下の浄化を行います。
 - 患者体内に蓄積した毒性物質の除去
 - 透析液から血中への溶質の拡散で体内に不足した物質の補充小分子量物質の除去に優れています。

- **オンラインHDF**

HDFとはHemodiafiltration（血液透析濾過）の略で血液浄化法のひとつです。小さな毒素から大きな毒素まで幅広く除去できるメリットがあります。オンラインHDFは補充液に清浄化された透析液を使用するシステムです。当院では全台にてオンラインHDFを施行できます。患者さんの栄養状態・透析中の血圧・血液検査のデータなどと照らし合わせ患者さんに合ったHDF条件設定の追及を心掛けております。オンラインHDFのメリットとして血圧下降の改善、透析アミロイドーシス進行の抑制・発症の遅延、掻痒症の改善が挙げられます。

- **I-HDF（間歇補充型血液透析濾過）**

30分おきに補液・濾過を繰り返す行うHDFの種類のひとつです。通常の透析では、治療の進行に伴い水分が枯渇して、体の深部の細い血管がさらに細くなります。それにより血液や物質の流れが悪くなると考えられI-HDFでは、間欠的に補充液が入ることで、細くなった血管がまた開いて体の深部から老廃物を掻き出す効果が期待でき末梢循環を改善させ血圧の安定化が期待出来るといわれています。

糖尿病センター

糖尿病学会認定教育施設Iを取得しています。

糖尿病・代謝内科

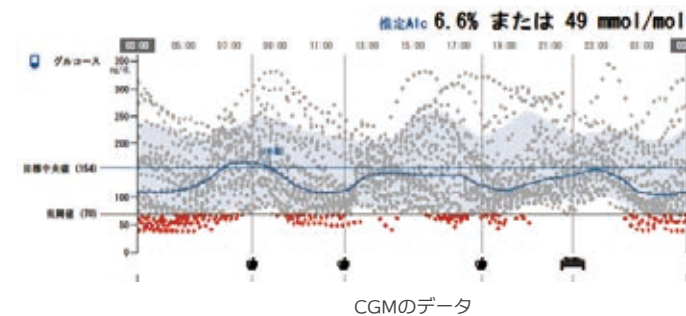
糖尿病や肥満でお悩みの患者さんを治療しています。

診療内容・取り組み

1型、2型糖尿病患者に、糖尿病療養指導チームが患者さんにあつた診療を心がけています。療養指導チームには、糖尿病専門医師3名（専門医・指導医2名）、糖尿病療養指導士（看護師3名、管理栄養士1名）、その他管理栄養士4名、薬剤師1名、検査技師1名、理学療法士1名、歯科衛生士1名がおり、療養指導に携わっています。血糖コントロールを良好に保つことを目的に、療養指導に力を入れ、合併症に対しても他科と連携して対応しています。

得意分野

糖尿病性腎症の患者さんには、糖尿病療養指導士の看護師ならびに、管理栄養士、糖尿病専門医が指導を行います。糖尿病性神経障害、閉塞性動脈硬化症の患者さんに日本糖尿病療養指導士（看護師）がフットケアを行います。血糖コントロール不良の患者さんには持続血糖モニター（CGM）を付けていただき、24時間の連続血糖測定を行います。患者さんと共に振り返り、今後のコントロールに生かすことが目的です。インスリン、GLP-1作動薬、フリースタイルリブレも外来導入を行っており、外来で自己注射を覚えていただくことができます。最新の体組成分析装置（インボディ770 インボディ社）を用いて、体脂肪量、筋肉量、内臓脂肪量を定量し、肥満に対して詳細な把握をし、治療の評価を行っています。



CGMのデータ



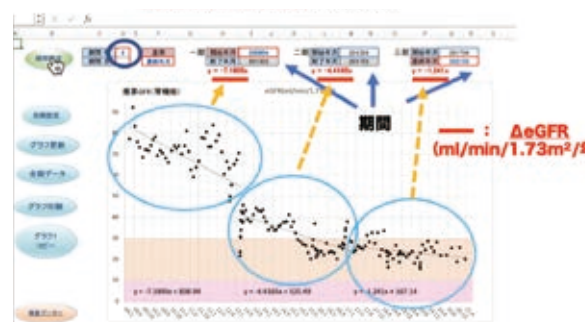
持続血糖モニター(CGM)

● eGRRAPS (eGFR reduction rate automatic presentation system eGFR低下率自動提示システム) の活用による、糖尿病性腎症の評価と治療

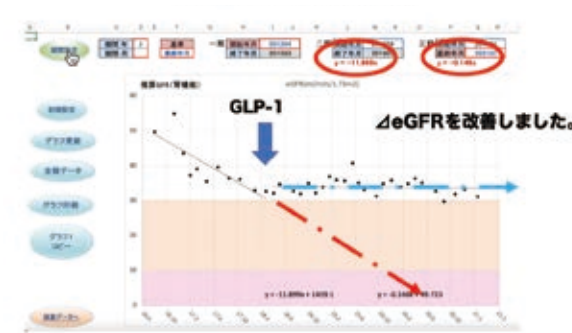
近年、eGFRの年間の低下率（ Δ eGFR）が、臨床評価指数としても重要であるとされており。しかし、 Δ eGFRの算定には、入力作業が必要であり、日常診療で使用するにはハードルが非常に高いものでした。当院では、2年前から、eGFR低下率を診察室で提示できるシステムを開発しました。eGRRAPS (eGFR reduction rate automatic presentationsystem eGFR低下率自動提示システム) といいます。最大15年間のeGFRの推移を、数秒でモニターに提示します。このシステムにより、診察室で、eGFRの推移、 Δ eGFRの表示を患者にも表示することができ、

- 腎機能の今後の推移
- 治療効果判定
- 透析導入時期

の見える化に貢献しております。糖尿病性腎臓病患者の治療意欲向上にもつながると考えております。



eGRRAPSの表示



GLP-1製剤投与

多彩な愁訴に少しでも応えることを目指します。

■ 統合医療とは

西洋医学を中心とした医療では治らない患者さんに東洋医学の面からもアプローチして、足りない部分を補い合って健康を取り戻す医療です。

患者さんの高齢化が進み、複数の疾患を抱えている他、体調不良なのに原因が明確にわからない「不定愁訴」で悩む患者さんが増えています。そんな患者さんたちの思いに少しでも応えられたらと導入した医療が「統合医療」です。

真生会統合医療室の特徴

- 西洋医学専門医、漢方薬処方医師、漢方専門薬剤師、鍼灸師による新しいカタチのトータルケアを目指します。
- 現代医学による治療効果が不十分な場合、漢方薬や鍼灸による東洋医学的手段も柔軟に取り入れた臨床を行います。
- 主治医との連携のもと、東洋医学的に効果が不十分な場合、現代医学的再評価により、常に西洋医学と東洋医学の相乗効果がうまれる診療を心がけています。

漢方薬や鍼灸が適している疾患や症状

- 西洋医学で明確な診断名がつかないが、症状が改善しない。
- 現代医薬品が副作用のため十分に使用できない、使用を控えたい。
- 西洋薬の効果を底上げしたい場合。

具体的には、

- 冷え症
- アレルギー関連症状；慢性鼻炎
- 不定愁訴、不眠症、心身症、神経症
- 不妊症、男性不妊
- 慢性腎臓病
- 女性に特有の症候；月経前症候群（PMS）、月経不順、更年期障害など
- 自律神経失調症

など、いろいろな症状を、漢方的に診断した身体の歪みを補正することで、改善することを目指します。

● 真生会なつめ鍼灸院、真生会富山病院漢方外来
Facebookページもご覧ください。
<https://www.facebook.com/natsume89andkampo/>



■ 漢方外来

漢方医学の知識を備えた医師による診察、漢方専門薬剤師による生薬本来の薬力を十分に引き出す加工調剤を特徴とします。

さらに、「漢方になじみがない西洋医学専門医」と鍼灸治療とのコーディネーターの役割を担います。

- 漢方医学的診断に基づき、症状に応じて処方いたします。
- 保険診療と自費診療があります。
- 保険診療では、保険診療の病名もふまえて、漢方的診断で適応のあるエキス製剤を処方いたします。
- 漢方エキス剤で効果不十分の場合、保険適応のない生薬も用いる自費診療を提案し漢方薬の有用性の最大化をめざします。



真生会自費漢方の特徴

- 煎じ薬は、内服するまでの手間ひまがかかり定期的に長期継続することが難しい欠点があります。当院では、その煩わしさを少しでも軽減するため、茶葉で緑茶をのむ感覚で内服できる熱湯薬末浸漬法（IPCD；immersing powdered crude drugs法）を導入しております。

● ホームページでさらに詳しい内容をご覧くださいませ。
<https://www.shinseikai.jp/department/kanpou/detail.html>



■ 真生会なつめ鍼灸院

鍼とお灸専門の治療院です。

病院内にある鍼灸院の利点を最大限に生かし、医師や看護師、薬剤師といった医療者と連携して「患者中心の統合医療」を実践します。

漢方薬と鍼灸を組み合わせることで、専門性の高い統合医療を提供できるようになりました。一般外来のある本館から鍼灸院に行くことができます。

真生会鍼灸院の特徴

- 困っておられる症状から、その背景にある身体の調和の乱れを見い出して、東洋医学的視点からの根本原因への対処を目指します。
- 治療には伝統医学的な考え方も用い、刺さない鍼や浅い鍼、熱くないお灸を多用し心地よく感じる刺激で治療を行います。
- 安全と安心を第一に治療を行います。
- ハリは使い捨てを使用しております。
- プライバシーに十分配慮いたします。



■ 治療時間・料金

利用は開院時間内に直接、鍼灸院に来院するか、専用電話とインターネットによる予約も受け付けています。

予約電話：070-2641-7468

診療時間：＜月～金＞午前 9:00～12:00、午後 13:00～17:30 最終受付 16:30

＜土＞ 月1回 漢方外来の日のみ診療 午前 9:00～12:00

治療はすべて自費診療となります。健康保険の取り扱いはいたしません。

料金：＜一般治療＞初診：5,500円、再診：5,000円

＜美容診療＞初診：8,500円、再診：8,000円

＜小児治療 ※小学生以下＞ 1,500円



● 詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.shinseikai.jp/natsume_shinkyuin/

健診センター

病気を早めに発見し、治療につなげ、
健康という宝を守っていきましょう。

健康診断

- 一般健康診断
- 企業の集団健康診断
- 特定健診・射水市がん検診
- 富山県肝炎ウイルス検査(無料)
- 富山県風しん抗体検査(無料)

人間ドック

年に一度は「人間ドック」を受けましょう。

スタンダード

標準的なコースです。
料金 39,215円(税込)

セットコース

スタンダードと脳ドックを合わせた全身コースです。
料金 61,622円(税込)

オプション(追加検査)

胸部CT、前立腺がん検査など、複数のオプション検査を各
コースに追加して受けることができます。

脳ドック

脳卒中などの脳の病気の早期発見に役立ちます。
料金 34,738円(税込)

胃ドック

胃内視鏡、結果説明
企業健診と合わせて受けることもできます。
料金 13,805円(税込)

※表示料金は、令和5年(2023年)3月1日のものです。
現在の料金は窓口等でお尋ねください。

※胃内視鏡で鎮静剤を使用される場合は別途 2,200円(税込)が
かかります。

生活習慣病予防健診

全国健康保険協会(協会けんぽ)の生活習慣病予防健診の実施機関としての認定を受けています。

検査内容 ●一般健診 ●付加健診 ●乳がん検診(外部委託) ●子宮頸がん検診 ●肝炎ウイルス検査

受診対象者 協会けんぽの被保険者本人(35～74歳)

健診センターの特長

●胃カメラは鎮静剤で楽に検査できます

胃内視鏡検査は鎮静剤を使用して受けていただくこともでき、鼻
からの検査も含め全部で4種類の方法からお選びいただけます。
※鎮静剤の効き方には個人差があります。

●体成分分析装置インボディ

約30秒の時間で測定ができます。
この検査で、体組成(筋肉量・脂肪量等)と内臓脂肪量の程度
が分かります。また、部位別筋肉量・部位別脂肪量・浮腫(むく
み)の程度が分かります。



インボディ570



胃内視鏡検査

お問い合わせ・ご予約

健診はすべて予約制です。

管理棟1階健診センターにお越しいただくか、健診センターへ直通電話にてお問い合わせください。
※外国人の方は追加費用が発生する場合がありますので、お問い合わせください。

健診センター直通 電話: 0766-52-2473 FAX: 0766-52-7756

<月～金>9:00～15:00 <土>9:00～11:00

●詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.shinseikai.jp/checkup/>



患者支援センター

病気や入院など患者さんやご家族の皆さまの
不安や悩みの相談対応・サポートを行います。

患者さんの支援と地域の専門職連携をサポート

退院後も住み慣れた地域で生活できるように、当院内
の連携だけでなく、地域の専門職の方とも連携します。

超高齢社会となり、医療・介護のニーズが高まる一方で、医療の高度化により、
病院によって担う役割が変わってきました。病状に適した医療機関を選ぶこと
で速やかな快復をはかるとともに、退院後の生活を支援できる体制を整備する
ため、患者支援センターを設立しました。
入院前から患者さんやご家族の療養に対する不安や悩みをお聞きし、安心して
入院治療を受けていただきたいと思います。



受付

患者支援センターの役割

療養の支援

通院や手術などで気になることや困り事のご相談に対応しています。

入院時のご相談

入院に際しての手続きや費用面のご相談に対応しています。

退院後のフォロー

療養相談や地域担当のケアマネジャーとの調整を行います。

地域医療との連携

地域の専門職の方との連絡をとってサポート調整を行います。

このような場合はご相談ください

●治療を受ける際に費用面が心配

公費(重度心身障害者等医療費助成、自立支援医療)・高額療養費制度の情報提供を行います。

●退院後の生活が心配

老人保健施設、療養型医療施設などのご紹介を行います。

●自宅での療養・介護が不安

介護保険サービスに関する情報提供やデイケア・訪問看護などの在宅サービスをご紹介します。

●体に不自由が生じた場合の福祉制度について知りたい

身体障害者手帳・障害年金制度の手続き方法などの情報提供を行います。

この他、手術や入院での不安など病院にかかわることで気になることがあれば、ご相談ください。
相談料金は一切かかりませんので安心してご相談ください。(相談いただいた内容の秘密は厳守いたします。)

看護部

真生会富山病院看護部は、地域包括ケアを担える看護の実現をめざして患者の皆様の尊厳を守り、利他の心に深く根ざした看護を実践します。

看護部の理念

私たちは、人命の重さを強く自覚し常に患者の皆様 の立場に立って、患者の皆様 の安全と、安心して頂ける看護に誠心誠意努めます。

看護部の基本方針

1. 人格と権利を尊重した看護を提供します。
2. 的確な判断と技術に基づいて、「またお世話になりたい」と思われる看護を実践します。
3. 豊かな感性と人間性を養い、職業人として自己啓発していきます。
4. 心身ともに健やかで、いきいきと働ける職場づくりに努めます。

求められる看護師像

真生会富山病院看護部では、当院の理念・基本方針のもとに、地域の人々の健康に関するニーズに応え、質の高い看護を提供することができるよう、豊かな感性と高い倫理観をもち、幅広い知識・技術・態度を統合して、根拠ある看護実践を行える自律した看護師の育成をめざしています。

令和4年(2022年)4月現在

看護師	190名(うち非常勤59名)
ケアメイト	54名(うち非常勤21名)

ケアメイトは、患者さんのお世話や医療器材の取り扱い、事務業務などを通して、医師や看護師の仕事をサポートしています。



管理運営スタッフ



病床管理会合



病棟ケアメイト



発熱外来の看護師



洗浄滅菌室ケアメイト



透析室の看護師

看護部組織

さくら病棟(急性期一般病棟)

地域包括ケア病棟(わかば病棟・あやめ病棟)

外来

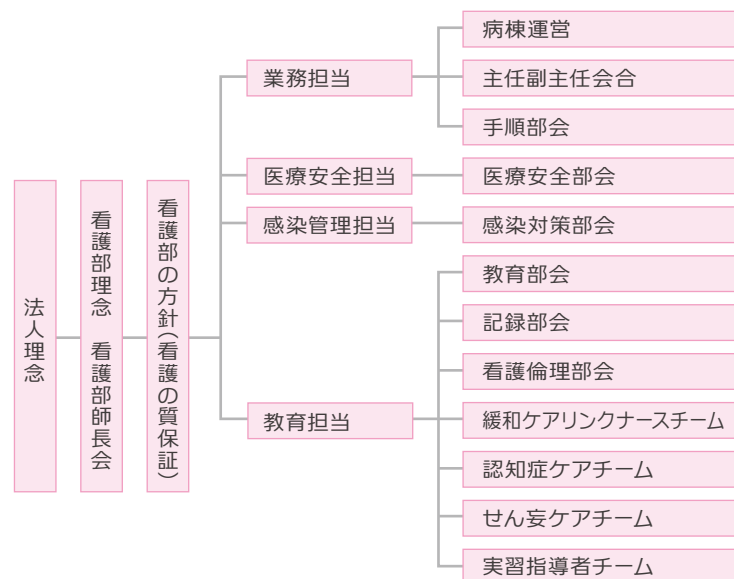
- ・内科
- ・小児科
- ・外科
- ・整形外科
- ・形成外科
- ・皮膚科
- ・耳鼻科
- ・アイセーター
- ・緩和ケアセンター(緩和ケア内科・外来化学療法室)
- ・消化器センター(消化器内科・内視鏡室)
- ・腎透析センター(泌尿器科・透析室)
- ・糖尿病センター
- ・看護外来(糖尿病看護・慢性腎臓病・禁煙)
- ・救急室

手術室

- ・中央手術室
- ・アイセーター手術室
- ・洗浄滅菌室

患者支援センター(入退院支援室)

看護部機能図



地域医療部

在宅医療や訪問看護、介護保険サービスなどの利用について相談をお受けしています。

地域医療部の紹介

真生会富山病院では、患者さんと地域の皆様の期待に応えられるよう、地域に根ざした医療サービスを提供したいと、地域連携に力を入れています。

平成18年(2006年)に地域医療部を設置し、医師、看護師、医療ソーシャルワーカーを配置しました。
地域の各医療機関が、それぞれの専門性を発揮し、患者さんのお住まいの地域で、患者さんの症状にあった適切な医療を提供していくことが求められています。
地域医療部は、地域医療連携室、医療福祉相談室で構成されています。地域医療連携室では、病院と病院の連携、病院と診療所の連携を行っています。
医療福祉相談室では、退院調整や、経済的・心理的・社会的問題解決のために社会福祉制度活用 の援助を行っています。
他病院からの紹介患者さん受け入れの調整を行い、在宅医療や訪問看護、介護保険サービスなどの利用について相談をお受けしています。地域のケアマネジャーや行政機関、介護保険施設と共に患者さんの療養環境を整えています。



相談内容

● 地域医療連携室

- ・診療情報提供書、返書に関すること
- ・外来患者さんの療養に関わること
- ・退院後の療養環境の調整
- ・医療や社会福祉に関連する地域関係機関との連携・調整(ケアマネジャーからの相談や、市町村役場・厚生センターからの問い合わせなど)
- ・広報誌の発行
- ・院外での健康セミナーの開催

患者さんが安心して療養生活が送れるように、地域の医療機関やケアマネジャーと密に連携を図り、相談をお受けしています。

● 医療福祉相談室

- ・退院支援(転院先や施設等の紹介)
- ・在宅療養支援
- ・介護保険の説明
- ・医療費や生活費などの経済的問題の解決、支援
- ・受診援助
- ・活用可能な社会資源の紹介
- ・社会復帰支援
- ・心理的支援
- ・就労支援(主に心療内科)

セカンドオピニオン外来

真生会富山病院では、セカンドオピニオンの相談に応じています。セカンドオピニオンとは、「患者さんが現在治療されている病院での診断や治療方針について、他の医師に意見を聞く」というものです。

● 受診される場合

当院を受診している方

当院の他の医師または他病院等でセカンドオピニオンをお聞きになりたい場合は、担当医にお伝えください。ご相談に応じます。

他院を受診している方

当院の医師にセカンドオピニオンを希望される場合は、セカンドオピニオン外来をお申し込みください。
セカンドオピニオン外来は、当院以外の医療機関に入院または通院されている方を対象に、当院の専門医が皆様の主治医からの情報等をもとに、診断内容や治療法等に関して助言を行うことを目的とする外来です。

その他の部門

中央検査科

患者さんに優しく、
信頼される検査の実践に努めます。

●ホームページもご覧ください。
<https://www.shinsekai.jp/chuoukensa/>



食膳栄養科

患者のみなさんが安心、
満足できる食事・栄養サポートに努めます。

●ホームページもご覧ください。
<https://www.shinsekai.jp/eiyou/>



薬剤科

患者さんに信頼される薬剤業務に努めます。

●ホームページもご覧ください。
<https://www.shinsekai.jp/yakuzai/>



Facebook でも部門・科の紹介をしています。ぜひご覧ください。

●真生会富山病院 Facebook
<https://www.facebook.com/shinsekaihospital>



創立30周年(2018年)を記念して撮影

受付・診療時間

外来受付時間

● 平日

午前外来	●受付 8:00~11:30> ●診察 8:50~ ※整理券は7:45から配布いたします。(当院を初めて受診される方は、診察申込書をご記入ください。) ※診察時間は、診療科によって異なる場合があります。ホームページやお電話でご確認ください。
夕方外来 (月・水・金)	●受付 16:00~18:45> ●診察 16:30~ ※整理券は7:45から配布いたします。 ※16:00以前に夕方外来の受付はできません。 (当院を初めて受診される方は、診察申込書をご記入ください。) ※診察時間は、診療科によって異なる場合があります。ホームページやお電話でご確認ください。

● 土曜日

午前外来	●受付 8:00~11:30> ●診察 8:50~ ※整理券は7:45から配布いたします。 ※診察時間は、診療科によって異なる場合があります。ホームページやお電話でご確認ください。
------	--

● 日曜・祝日

全科休診 (急患は24時間対応)

令和5年(2023年)2月現在

※急な休診や診療時間の変更がある場合がございますので、ご来院前にホームページやお電話で最新の休診日・診療日をご確認ください。

※2つ以上の科を受診される際は、午前は11:00まで、夕方は18:15までに受付をお願いします。

※16:00前に夕方外来の受付はできません。

※翌日の受付はできません。

※休日・夜間など救急で受診される方は、総合受付または小児科受付にお越しください。

※日曜・祝日・夜間など、診療時間外の急な病気に対しては、年中無休で24時間日当直医が対応しています。詳しくは救急で受診される方へ(24ページ)をご覧ください。

●ホームページもご覧ください。
<https://www.shinsekai.jp/outpatient/>



予約が必要な外来について

心療内科と、真生会デンタルクリニックは完全予約制です。

アイセンターは待ち時間の短縮と混雑を避けるため原則予約制です。

受診をご希望の方は、お電話でご連絡ください。

緩和ケアセンターは、さまざまな療養場所・緩和ケアチームでサポートをいたします。担当医師または看護師にご相談ください。

心療内科
電話:0766-52-3377

真生会デンタルクリニック
電話:0766-52-6070

緩和ケアセンター
緩和ケアセンターのご予約は総合受付にお問い合わせください。
電話:0766-52-2156

アイセンター
ご予約は直通電話にお問い合わせください。
電話:0766-52-6979

施設概要・フロアのご案内



- 1 F
- **本館** 外科、整形外科、患者支援センター（地域医療連携室、医療福祉相談室）、レストラングリーンハット、売店、リハビリテーション科、総合受付、薬剤科、放射線科、患者図書室
 - **南館** 内科、泌尿器科、小児科、腎透析センター、糖尿病センター、救急、南館検査室
 - **管理棟** 健診センター、緩和ケアセンター、外来化学療法室
 - **真生会デンタルクリニック** ● **真生会なつめ鍼灸院**
- 2 F
- **本館** 消化器センター、皮膚科、形成外科、麻酔科、中央手術室、本館検査室、内視鏡検査室、小児図書室
 - **南館** 耳鼻咽喉科、アイセンター(眼科)、心療内科
- 3 F
- **本館** わかば病棟
 - **南館** あやめ病棟
- 4 F
- **本館** さくら病棟
- 5 F
- **本館** 大講堂

- 施設
- 訪問看護ステーションところ
 - 看護小規模多機能型居宅介護事業所ところの家
 - 真生会高岡クリニック
 - 真生会伏木クリニック
 - 住宅型有料老人ホームセカンドホームほのか
 - 地域型保育認可施設木の子ハウス



わかば病棟、さくら病棟は、スタッフステーションを挟んでV字に病室を配置することで、スタッフステーションから病棟が見渡せるようになっています。

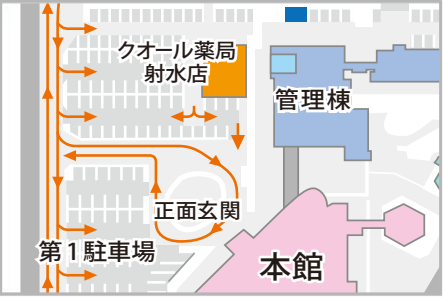


あやめ病棟は、眼科の入院専門病棟のため、患者さんに見やすいように病室の番号は各病室ドアに大きく記載しています。さらに歩行時に、うつむき気味でも視界に入るようにドア下部へ記載しました。

- 患者さんもスタッフもお互いを身近に感じられるようにスタッフルームと病室の配置がされています。
- ベッドサイドのスペースを広くとることで、できる限り患者さんを動かさずに処置ができるようになっています。
- 浴室・シャワー・洗濯スペースは病室前の廊下から離すことで、湿気・音が廊下に漏れないようになっています。
- トイレは分散して病室近くに設けて患者さんの移動を少なくし、また、病室からはトイレ出入口が見えないようにして気兼ねなく利用できるようにしています。
- 面会用のデイルームを病室から離して、病室まで話し声が届きにくくなっています。
- 個室は窓の高さを低く抑え、寝たままでも立山連峰を眺められるようにし、精神的なリラクセスにも配慮しました。



出入口付近の動線が複雑だったため、正門の位置を変更しました。
また、出入口から道路の状況が確認しやすいように、石垣の位置と植込みの高さを変更しました。



正面玄関前のロータリーにつながる車道は歩車分離をして歩行者の安全性を高めました。また、正面玄関付近の駐車台数を増やしました。



レストラン・売店は、利用頻度の高い第1駐車場とは病院を挟んで反対側にあります。車や人の出入りも少ないため、静かで落ち着いた場所です。



リハビリテーション棟は、本館から独立しています。駐車場や道路からも離れており、とても静かな場所で、リハビリに集中できます。



- レストラングリーンハット
- 1階 エントランス左奥(売店併設)
 - 月～金 8:30～14:00
 - 土 8:30～13:30
 - 定休日:日曜日、祝日



- 売店
- 1階 レストラン横
 - 月・水・金 8:30～19:30
 - 火・木 8:30～17:00
 - 土 8:30～14:00
 - 定休日:日曜日、祝日



- 福井銀行ATM
- 病院正門近く
 - 平日、土日祝 8:00～21:00

講演会・セミナー

■ 真生会富山病院『出張講座』

地域の皆さまとの交流、健康づくりのお手伝いの一助として
当院職員による「出張講座」を行っています。

皆さまが知りたい、聞きたい、体験したい講座をお申し込みください。

当院職員が講師として皆さまのもとにお伺いいたします。

皆さまの疑問にもお答える“コミュニケーション”を大切にした講座を心がけています。地域で行われる集会や団体の会議、学校の授業などに、ぜひ「出張講座」をご活用ください。



二村医師

「出張講座」とは？

住民（自治会や町内会などの自治組織）や企業・団体からの要請に基づき、皆さまの病気の予防や健康づくりのお手伝いを行うことを目的とした富山県内対象の講座です。

●詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.shinseikai.jp/lecture/>



■ SNSで情報発信

病院スタッフの活動の様子や患者さんへのメッセージをこめた動画をSNSで積極的に配信しています。

Facebook



YouTube



Instagram



Twitter



メディア掲載

■ 取材・講演会依頼・メディア出演・掲載実績

当院医師のTV・新聞等メディア掲載情報や取材依頼、また、企業・学校等での講演依頼も受け付けています。

富山県内を中心に多数の取材を受け、情報発信に努めています。

出演した番組は、ホームページでご紹介しています。

●詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.shinseikai.jp/media/>



■ 広報誌



●『和顔愛語
真生会富山病院だより』
年2回発行



●『地域連携だより』
年3回発行



●『おはだ』
皮膚科の花川博義
医師制作の広報誌



●『主治医の一言』
当院の内科医師が執筆している広報誌

外国人患者受入れ体制

外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）

外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）とは、外国人患者の円滑な受入れを推進する国の事業の一環として厚生労働省が平成 23 年度（2011 年度）に実施した「外国人患者受入れ医療機関認証制度整備のための支援事業」を基盤に策定されました。

平成30年（2018年）7月11日、医療法人真生会 真生会富山病院は富山県内の医療機関では第一号として、外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）を取得しました。令和3年（2021年）に更新審査を受審し、8月2日付で認証されました。外国人患者さんにも安心と満足の医療をお届けできるよう、体制を整えています。



英語医療通訳

中国語医療通訳



<主な体制> ※令和 5 年（2023 年）2月現在

通訳形態	対応言語	利用可能な時間
電話医療通訳	英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語 ※以下の言語は事前予約が必要です。	毎日 8:30～24:00
インターネット電話医療通訳	ヒンディー語、フランス語、モンゴル語、タガログ語、インドネシア語、ペルシャ語、広東語	
ビデオ通訳	英語、中国語	平日 8:30～18:30
機械翻訳	英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、タイ語	いつでも
医療通訳者	英語	月・水・金 10:45～19:30 土 8:00～12:00
医療通訳者	中国語	月～金 8:30～17:15

かがやく笑顔
口からはじまる健康づくり

医科各科との連携のもと、虫歯、歯周病、インプラント治療を行っています。

真生会デンタルクリニックの特長

- 国民の7割が患っているといわれる歯周病治療を中心に虫歯治療、習癖の改善など、咬合力のコントロールに配慮した治療とメンテナンスを行っています。
- 痛くない義歯・コンフォート（生体用シリコン利用）義歯を導入しています。
- あいうべ体操（健口体操）を実践指導し、口腔機能の向上に努めます。また、医科歯科連携により歯科疾患と全身疾患との関係を捉え、生涯にわたり健口生活を送っていただけるよう、ひとりひとりにあった治療プランを提案、情報を提供します。
- 車イスのままでも治療が受けられるよう、車イス専用の治療台を設置しています。
- 多職種との連携を深め、在宅往診にも力をいれています。

口腔機能を高める

- 1.唾液の量を増やす ● 2.口呼吸から鼻呼吸に ● 3.正しい舌の位置
- 4.口と全身の関係 ● 5.インフルエンザの予防に“あいうべ体操”
- 6.口腔機能の向上が義歯（入れ歯）の安定をもたらす ● 7.動物と人間の顔貌の違いは

当クリニックは、福岡市博多区で開院されている今井一彰先生（みらいクリニック院長）考案“あいうべ体操”の普及に努めています。当クリニックは「鼻呼吸を日本の文化に」を合言葉に、その啓蒙を行っています。

歯周治療

歯周病は、歯を支える骨や歯肉の病気です。家も土台が悪いとぐらぐらして、ついには倒れてしまいます。歯周病は軽いうちに手当てをしなければ、歯の土台である歯槽骨がだんだん無くなって遂には、歯が抜けてしまいます。昔の歯周病は歯を抜くことが主な治療法でしたが現在では、かなり治せるようになってきています。治療は歯周病の進行度によって変わります。さあ、あきらめないで、一緒に大切な歯を守ってゆきましょう。

口腔管理（メンテナンス）

希望された方には口腔内が健全な状態で維持できるよう歯科衛生士が医師の指導の下、定期的に口腔管理を行います。専門的なティースクリーニング（PMTTC）などを行います。

地域連携

- 通院困難になった受診者の往診にまいります。
- 口腔機能・管理について歯科医師や歯科衛生士が講演を行います。
- 訪問診療を歯科衛生士が行っております。
- 地域包括支援センターや施設と連携をとっています。

私たちにお任せください

皆様のところと体の健康を、お口の中から支えられるよう、スタッフ皆、力を合わせて診療を行っています。

- ホームページもご覧ください。

<https://www.shinseikai.jp/department/dental/>



真生会デンタルクリニック



24時間体制だから、毎日安心・安全の生活。

有介護資格のスタッフによる安心の介護サービス

ほのかでは、介護資格を持つスタッフが常勤しており、ご入居者の必要に応じたあらゆる支援を行います。

- おむつ交換 ● 食事介助 ● 入浴介助 ● 居室清掃 ● 洗濯 など

夜間も安心な定期見守り巡回 緊急時も迅速対応

夜間も定期的に見守り巡回をいたしますので、安心してお休みいただけます。また、全室にナースコールを完備し、緊急事態にも迅速に対応できるよう、24時間体制でご入居者をサポートいたします。



病院と連携した健康管理でご入居者もご家族も安心

真生会富山病院と連携し、定期的に医師による訪問診療を行います。病院と近接しているので、緊急時も迅速な対応が可能です。また、日々のバイタルチェック等の健康管理も介護資格を持つスタッフがサポートいたします。

食事サービス

毎日の活力の源はあたたかく美味しいお食事から。ほのかでは厨房を完備し、365日毎日3食あたたかいお食事をご提供いたします。旬の素材を使い、健康を考えたこだわりのメニューを栄養士・調理師などのプロスタッフが心を込めて調理しています。



ほのかの介護理念

ご入居いただいたおひとりおひとりの自分らしい笑顔があふれるように
ほのかならではの4つのテーマを掲げています。

- 1. 笑顔のない介護サービスは介護ではない！**

例えばおむつ交換のとき。職員に一番必要なスキルは「愛嬌」だと考えています。
- 2. 食事は「おいしいね」のひと言のために！**

栄養管理を徹底させることよりも、「おいしいね」のひと言にこだわった食事を提供したいと考えています。
- 3. 臭覚や触覚など五感で納得する清潔感を！**

ご入居者も職員もみんなきれい好き。訪れるご家族やご友人たちも感激するような清潔感を心がけています。
- 4. おひとりおひとりへの介護の質にこだわりを！**

月々の入居費が負担になっては本末転倒。施設の見栄えより介護の充実こそ優先すべきだと考えています。

施設概要

施設名	セカンドホームほのか	管理会社	株式会社うちくる
所在地	〒939-0243 富山県射水市下若81番地	設立	2015年1月8日
TEL	0766-50-8438	施設の特徴	類型：住宅型有料老人ホーム 居室数：40室 利用形態：賃貸方式
FAX	0766-50-8439		



- ホームページもご覧ください。
<https://www.shinseikai.jp/honoka/>



セカンドホーム
ほのか



その人らしく その家らしく

その人らしさ、ご家族らしさを支援する
訪問看護を行っています。

**■ 訪問看護とは？**

看護師などがお住まいを訪問して、主治医の指示や連携により行う看護（療養上の世話又は必要な診療の補助）です。
赤ちゃんからお年寄りまで、訪問看護を必要とする全ての方が対象となっています。

**■ 訪問看護サービスの主な内容****1. 健康状態の観察と助言**

体温・脈拍・血圧などを測り、健康のチェックと病状の観察と助言を行います。

2. 日常生活の看護

食事の援助、身体の清潔、口腔ケア、排泄ケアなどを行い、寝たきり予防のためのケアを行います。

3. リハビリテーション

理学療法士・言語聴覚士・看護師が、運動機能の維持・回復のための訓練、嚥下機能訓練などを行います。
福祉用具の活用、住宅改修などについての助言を行います。

4. 介護者の支援

介護方法について、一緒に考え、介護負担の軽減を図るよう支援します。

5. 緩和ケア

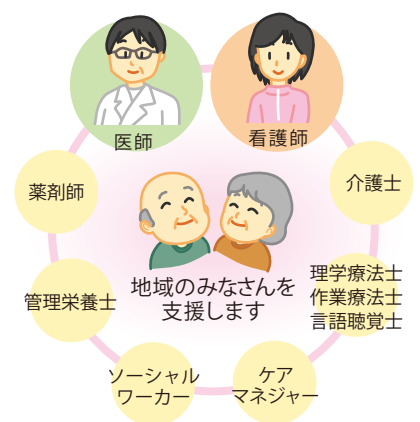
疼痛緩和や症状緩和に適切に対処し、医療処置、病状変化や緊急時の対応、精神的な支援などを行います。

6. 認知症のケアや精神・心理的な看護

心身の健康状態を観察し、服薬・コミュニケーションの援助や生活リズムの調整、助言を行います。

7. 医療処置・医療機器の管理

主治医の指示にもとづく医療処置や検査を行います。
医療器具の使用状態の管理、緊急時の対応などを行います。



●ホームページもご覧ください。
<https://www.shinseikai.jp/kokoro/>



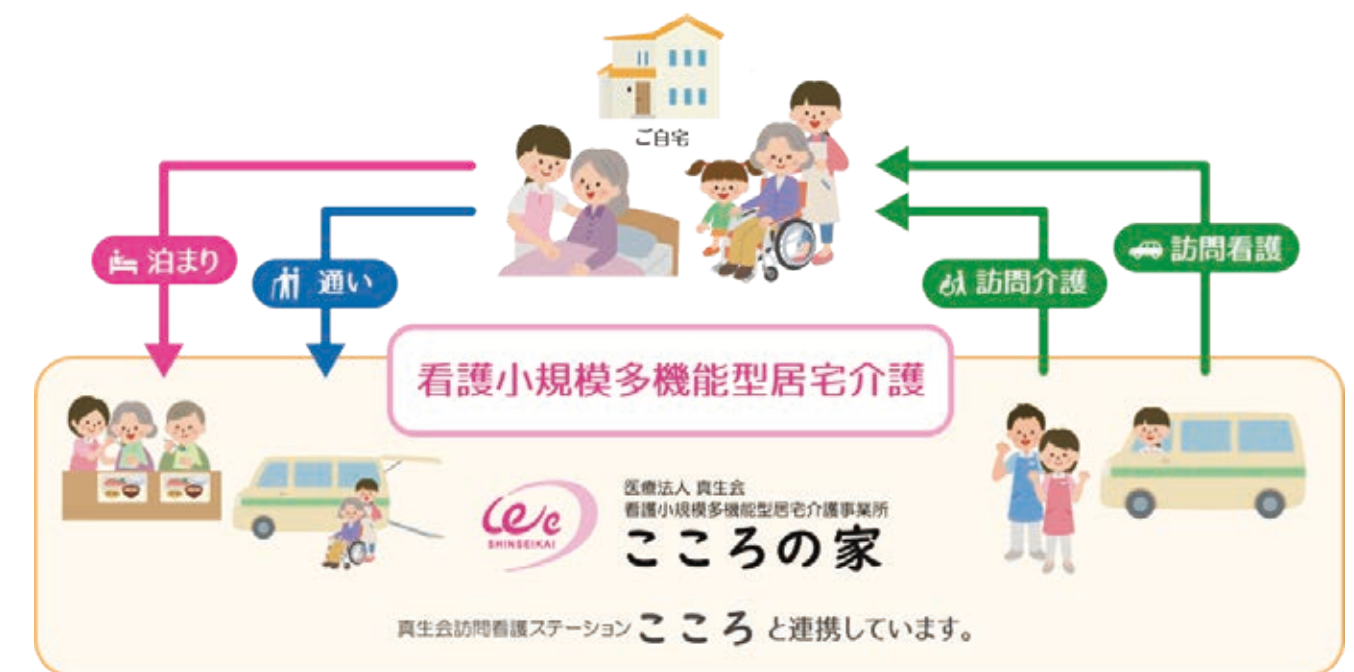
真生会訪問看護ステーション
こころ

**住み慣れた地域で「幸せに暮らし続ける」を支援します。****■ サービス内容**

こころの家はご利用者の状況やご希望に合わせて「訪問看護」「訪問介護」「通い」「泊まり」を柔軟に提供する地域密着型のサービスです。
この4つのサービスを顔なじみのスタッフが提供します。医療的ケアが必要な方、退院直後でご状態が不安定な方にも安心してご利用いただけます。
「その方らしい」暮らしを最期まで支援します。

● ご利用対象

射水市にお住まいで要介護認定1～5の方。
なじみの看護師、介護職員が4つの介護サービスを柔軟に組み合わせて対応します。
登録定員は29名までです。

**通いサービス**

日中に、こころの家に来て、体操などのレクリエーションや入浴（個浴・機械浴）などをして過ごしていただけます。
季節に合った行事もしています。一日定員 18 名です。

訪問介護

介護職員が自宅を訪問し、日常生活の支援をします。
サービスには、排泄介助などの身体介護と清掃などの生活支援があります。

● お気軽にお問い合わせください

直通番号は、0766-54-0717です。

● ホームページもご覧ください。

https://www.shinseikai.jp/kokoro_no_ie/



看護小規模多機能型居宅介護事業所
こころの家

泊りサービス

全室個室で9名までご利用いただけます。通いと同じ場所、同じスタッフが対応するので安心してお休みなれます。

訪問看護

看護師や理学療法士などが自宅を訪問し療養上のお世話やリハビリテーションを行います。



クリニックについて

消化器専門の医師、内科・呼吸器専門の医師の2名で診療を行っています。
消化器検査では、苦痛の少ない経鼻内視鏡検査を年間1000件以上行い、がんなどの早期発見に努めています。適切な診断と治療、また健康を維持するために大切な日常生活、とくに食事や運動について、患者さんと相談しながら皆様の健康をサポートし、安心と満足の医療を提供したいと考えております。
また、歩いて5分の距離に厚生連高岡病院があります。より詳しい検査や治療の必要があれば、いつでも紹介できる体制が整えられています。
なお、体力的に通院が難しい場合には、こちらから往診をいたしますので、お気軽にご相談ください。

生き生きとした日常生活を送っていただきたい

医療の進歩は目覚ましく、平均寿命が延びて、人生100年時代を迎えようとしています。
一方で、何らかの病気や体力の低下から、一人では生活できず介護を必要として生活しなければならない期間も延長しています。そこで近年、健康寿命という言葉が聞かれるようになりました。健康寿命とは、介護や人の助けを借りずに健康的な日常生活が送れる期間のことをいいます。
これから未来、生き生きとして楽しい人生を送るには、身心ともに健康であることが大切です。
どんなに経済的に恵まれていても、健康を損なってしまったら楽しいとは思えませんね。反対に、健康であれば、今日の食事がおいしくいただけます。大切な健康を維持し守ってゆくのは、日々の日常生活から始まります。そのサポートを、私たちは心がけ、安心と満足の医療を提供したいと考えています。

院長 北澤 勉



● 院長プロフィール

略歴：平成7年 富山医科薬科大学医学部卒業
その後、富山医科薬科大学第一内科入局
平成13年 大阪府 羽曳野病院 呼吸器科
平成16年 長野県 相澤病院 呼吸器科
平成24年 真生会富山病院 内科・呼吸器科
資格：内科専門医

診療のご案内

消化器内科

食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆のう・膵臓などの消化器官全般の検査や治療を行っています。胸やけ、胃もたれ、吐き気、胃痛、腹痛、便秘、下痢などでお困りの方はご相談ください。



循環器内科

心不全や不整脈などの循環器（心臓や血管など）疾患の検査や治療を行っています。胸が締め付けられる症状や動悸や息切れでお困りの方はご相談ください。



呼吸器内科

咽頭、気管、肺などの呼吸器疾患の検査や治療を行っています。気管支喘息やアレルギー性肺疾患でお困りの方はご相談ください。また、慢性呼吸不全の患者さんには、往診で日常生活をサポートいたします。



医療法人 真生会

真生会高岡クリニック

〒933-0957 富山県高岡市早川517
TEL 0766-27-7666

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
14:30～18:30	●	●	●	—	●	—

<休診>日曜・祝日・木曜午後・土曜午後

皆様の健康をサポートし、安心と満足の医療を提供します。

施設のご紹介

受付

初診時には、健康保険証のご提示、問診票のご記入をお願いします。
※風邪のような症状のある場合は体温測定を行います。
※保険証は毎月月初めにご提示いただきます。その際は必ずご持参ください。



待合室

明るく開放的な待合室で診察までお待ちいただけます。健康や病気に関するパンフレットを多数ご用意しております。待合室で自由にご覧いただけます。気になることがあれば、医師にご相談ください。



診察室

まず、問診票に記入いただいた内容とお話をうかがいます。気になることは医師へお伝えください。
その上で、身体所見を確認し、検査や処置を行います。
検査や処置の後、今回の症状や今後の対応についてご説明を行います。



エコー



心電図



内視鏡

●ホームページもご覧ください。
https://www.shinseikai.jp/takaoka_clinic/

「ネット受付」で診察の事前申込みもできます。



真生会高岡クリニック



■ クリニックについて

みなさまのかかりつけ医として 緩和ケアも

真生会伏木クリニックは、地域のみなさまのかかりつけ医として安心と満足の医療を目指します。

内科・外科の診療とともに、がん患者さんの身体と心の痛みを和らげる緩和ケアを行っていきます。

思いやりの心を大切に

真生会伏木クリニックが大切にしているのは、思いやりの心と患者さんとの対話です。

診療の中で患者さんのお話を傾聴し、心の苦しみを和らげるケアもしていきます。

また、通院が困難な方には訪問診療も行い、地域医療に貢献していきたいと思います。

真の総合診療を提供するクリニックを目指して

令和4年9月、伏木に開設された新しいクリニックの院長に就任しました。これまで実践してきたこと、そして真生会の「自利利他」の精神を形にした総合診療を提供する真生会伏木クリニックです。内科・外科に加えて癌や慢性的な痛み悩む患者さんを少しでも笑顔にするために疼痛にも対応します。設計から内装・医療機器・コンセプトのすべてに私の想いを込めました。

1階は外来に利用し、2階では様々な用途を想定しています。運動のできるスペースや患者さんがくつろぎながらお話できるカフェ、健康講座やバンドによるミニコンサート、アロマも提供したいと考えています。漢方の処方も行います。住宅街に音楽が聞こえたら、それはきっと伏木クリニックです笑。新型コロナウイルス感染症の対応やワクチン接種も可能です。患者さんが笑顔になられるのなら、形にとらわれずに今後もチャレンジしていきたいと思います。お身体の不調や原因のわからない痛みなど、お困りになることがあれば当クリニックにぜひお越しください。そしてお話をたくさん聴かせてください。

院長 古谷 正晴

●ホームページもご覧ください。

https://www.shinseikai.jp/fushiki_clinic/

スマートフォン「AI問診」で事前問診もできます。



真生会伏木クリニック



からだの痛みもこころの痛みも癒すクリニックを目指して。

■ 診療のご案内



一般内科

熱や喉の痛み、腹痛や消化器系の疾患などに幅広く対応しております。

- 熱・微熱がある
- 下痢・嘔吐がある
- 頭痛やめまいがする
- 身体がだるい、倦怠感がある
- 動悸・息切れがする
- 胸部・腹部などの痛み
- 食欲があまりない

● 専門外来

専門医（刀塚医師）が下記のような疾患の診療もしております。（月曜日午後、金曜日午後）
健診で貧血を指摘された、体がだるい、首にしこりができた、関節が痛いなどの症状があれば専門外来の受診をおすすめします。

- 血液疾患：貧血、白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫
- リウマチ・膠原病
- 内分泌疾患
- 各種の感染症



外科

スポーツや転倒などによるケガ（打撲、ねんざ、切り傷、擦り傷など）や、手術の必要がない整形外科疾患（腰痛、膝痛など）の診療を行っております。ケガには湿潤（うるおい）治療を取り入れた痛くなくて速く治る治療を方針としています。

また、筋肉痛に対してハイドロリリース（筋膜リリース）という注射の治療も行っています。診療の結果、手術が必要と診断すれば、提携医療機関を速やかにご紹介しております。

- 打撲や捻挫
- 切り傷や擦り傷
- 動物に咬まれた
- 腰痛や膝痛
- 肛門が腫れている。痛い。出血する。



疼痛緩和内科

がんと診断され苦しんでいる方やがんの痛みが辛い方、身体の慢性的な痛み悩んでいたり、その解決方法が全くわからないという方などに対して、対人援助論によるケアと鎮痛剤や漢方薬を組み合わせた治療を行います。

- がんと診断されて困っている、どうしたら良いか知りたい
- 慢性的な痛みがある
- 様々な医療機関・整体院などに通ったが、症状が改善しない
- 痛みを理解し、改善方法を知りたい
- 話を聴いてもらえず、こちらの状況を理解してもらえない



予防接種・ワクチン

インフルエンザの予防接種はもちろん、子宮頸がんのワクチン接種も可能な万全の体制がございます。

- MR麻疹風疹混合ワクチン
- A型肝炎ワクチン
- 子宮頸がんワクチン（HPV）4価ガーダシル（HPV）9価：シルガード
- 狂犬病ワクチン
- 三種混合ジフテリア、破傷風、百日咳ワクチン
- 水痘ワクチン
- 二種混合（ジフテリア・破傷風）ワクチン
- 髄膜炎菌ワクチン
- 破傷風ワクチン
- 日本脳炎ワクチン
- 風疹ワクチン
- おたふくかぜワクチン
- 麻疹（はしか）ワクチン
- 肺炎球菌ワクチン
- 帯状疱疹ワクチン

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
14:30～18:30	●	●	●	—	●	—

<休診>
日曜・祝日・木曜午後・土曜午後



医療法人 真生会

真生会伏木クリニック

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮二丁目10番20号 TEL 0766-44-0212

